

令和元年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

事業報告

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

目 次

○令和元年度の取組	1 ページ
○令和元年度目黒区文化ホール事業報告	7
自主事業	7
受託事業	5 1
○令和元年度目黒区美術館事業報告	6 1
自主事業	6 1
受託事業	7 3
その他事業	7 9
○ 処務の概要	
重要な契約の概要	8 7
財団運営会議開催状況	8 7
理事会・評議員会開催状況	8 8
評議員・理事・監事名簿	8 9

令和元年度の取組

令和元年度は、公益財団法人へ移行後 9 年目となり、また、目黒区文化ホール（以下「文化ホール」という。）及び目黒区美術館（以下「美術館」という。）の新たな指定管理期間 5 年間の最初の年となりました。

文化ホールと美術館は、平成 21 年度から 10 年間にわたる指定管理者としての蓄積を糧に、目黒区（以下「区」という。）が設置した指定管理者選定評価委員会の書類及び面接審査を経て、目黒区議会から指定の議決をいただき、改めて、令和元年度から、向こう 5 年間の両施設の指定を受けることができました。今後の 5 年間には、文化ホールの天井構造物の落下防止対策や、美術館を含む目黒区民センターの施設見直しなどが見込まれ、当財団が担う事業の円滑な実施に向けて、運営面での一層の工夫も求められるものと考えております。

財務面では、公益法人へ移行して以来、かねて東京都から指摘を受けてきました、公益事業の収支相償を平成 29 年度に初めて達成することができました。今後とも収支相償を維持しつつ、質の高い事業を展開するためには、財務体質の一層の改善も進めなければなりません。

文化ホール、美術館とも、区民はもとより、多くの方々の来場を仰ぎ、高い評価もいただくことができました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大が、パンデミック（世界的大流行）を引き起こし、令和 2 年に入り、当財団が計画した多くの事業を中止せざるを得ない事態（別記資料参照）となりました。

このような厳しい状況下にあって、芸術文化活動は、次世代に向けた投資であり、人々に生きる上での力を与え、異なる文化への理解と寛容の心を育むことにもつながります。“文化の崩壊”を招かないためにも途切れることのない取組が極めて重要です。

疾病の災禍を乗り越えた暁には、区民をはじめ利用者の目線に立ちながら、当財団の魅力ある活動に一層の磨きをかけてまいりたいと存じます。併せて、財務体質の強化を図りつつ、創意工夫を通じて来館者と利用者へのサービスの充実に努めてまいります。

1 文化ホール

令和元年度は、台風 19 号の影響や新型コロナウイルス感染予防・拡散防止

による公演中止のため、例年より若干少ない、自主事業34事業、区からの受託事業3事業、指定管理事業1事業の事業展開となりました。

(1) 鑑賞事業

鑑賞事業は、財団自らの財源を充てた主催事業のほか共催事業を活用しながら区民に良質な公演の鑑賞機会を提供してまいりました。主催・共催事業とも各年代層の要望に沿いつつ、公演ジャンルが偏らないことなどに留意し、年代の枠を超えた集客を目指してまいりました。主な事業は次のとおりです。

- 新進気鋭のアーティストをソリストに迎えた「フレッシュ名曲コンサート」
- 美術館の「線の迷宮〈ラビリンス〉Ⅲ 齋藤芽生とフローラの神殿」展と連携したインストゥルメンタル・デュオによる「ミュージアムコンサート」
- 文化ホールとゆかりの深い演奏家3名による室内楽コンサート

(2) 地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力ある地域づくりを目指して、地域に根差した事業の展開を図りました。主な事業は次のとおりです。

- 宮城県気仙沼市の復興支援を目的に「東日本大震災復興支援コンサート」による一部の関連企画（本公演や他の関連企画は中止）
- 区の補助金を充てた「避難訓練コンサート」
- 新進気鋭の演奏家を広く区民に紹介する「未来の音コンサート」

このほか、地域で優れた芸術文化活動を行う様々な団体への支援の一つとして、当財団との共催による事業も進めました。

(3) 体験・普及事業

区の補助金のほか、他団体の助成金や財団自らの財源も充てた「ワークショップ」と「アウトリーチプログラム」の2つの事業を行いました。

- 「ワークショップ」事業は、中高生を対象にした「演劇＋ダンス」と小学生を対象にした「ダンス」を通じて実演芸術に親しみ楽しむ機会を提供しました。また、大人のための「ワークショップ」は「演劇」を通して参加者に表現する機会を提供することができました。
- 「アウトリーチプログラム」事業は、区立の全小学校の児童と区立中学校の生徒に、豊かな情操を身に付ける機会を提供することができました。また、東京医療センター、区立特別養護老人ホーム3施設、区心身障害者センター、区立幼稚園、区立こども園でも実施いたしました。

(4) 受託事業・指定管理事業

例年実施している「目黒区文化祭」・「めぐろオータムアート」の2事業に加え、東京音楽大学新キャンパスが目黒区内に開校したことを記念し、大学の教員・学生による「室内楽&オーケストラ」コンサートを実施しました。

また、指定管理事業として、幅広い層の区民が楽しめるオペラアリア、ミュージカルナンバー、日本歌曲をトークも交えながら披露した「4人のバリトンコンサート ハンサムなメロディー」を実施しました。

(5) 貸館事業

利用者が安心して使用できるよう、日常点検や定期的な保守点検を通じて安全の確保を図りながら、施設の適切な運営と管理に努めました。しかし、施設の年間の利用率は、新型コロナウイルス感染拡大に対する活動の自粛に伴う中止が相次ぎ、大ホールが80.1%となるなど各施設が前年度に比べ2%から5%の減少となりました。

なお、令和元年度は、区の計画に基づき、大ホール舞台機構及び照明設備、遮光幕改修工事を行い、機器等の改善を図ることができました。

2 美術館

令和元年度は、展覧会事業6展を中心にワークショップなどの教育普及事業、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた取組等を進めました。

(1) 展覧会事業

- 自主事業展覧会は、次の3展覧会を開催
 - 「世紀末ウィーンのグラフィック」展
 - 「太田喜二郎と藤井厚二」展
 - 「線の迷宮〈ラビリンス〉Ⅲ 齋藤芽生とフローラの神殿」展
- 指定管理事業による展覧会は次の2展を開催
 - 「めぐろの子どもたち展」
 - 「目黒区美術館コレクション展 越境者たち」展
- 区からの新規の委託事業
 - 「めぐろの障がい者アート展 日々のよろこび」展

- 展覧会の入館者数 39,410人（年間目標を約3千5百人上回る）

「太田喜二郎と藤井厚二」展はNHKの「日曜美術館」や朝日新聞に、「齋藤芽生とフローラの神殿」展は、産経新聞、朝日新聞、毎日新聞などに取り

上げられ、各展覧会がマスコミからの注目も集めるところとなりました。

(2) 教育普及事業

展覧会に関連したワークショップなどを開催したほか、建築ガイドツアーや講演会、講座を実施しました。多くの催事に定員を超える応募があり、当館の教育普及事業の人気と関心の高さが伺えました。

- 夏期は「太田喜二郎と藤井厚二」展に関連して、建築や光をテーマにワークショップを開催
- 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー、区内小学生を対象としたギャラリーツアーや学芸員によるトークなど幅広い年齢層に向けた多彩な事業を展開
- 春期に実施を予定していた、「からだ」をテーマに美術との関係を探るワークショップ、館長による連続講座などは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 調査研究

指定管理事業である作品の保管・活用は、所蔵作品の保存・修復のほか、国内の美術館などへ所蔵作品の貸出しを行い活用するとともに、昨年度から取組んできた所蔵作品目録を刊行しました。

所蔵作品や所蔵作家だけでなく最新の美術の動向にも精通し、斬新な視点を構築するために、これまでと同様に調査研究に努め、魅力的な展覧会の開催を目指しています。

(4) 区民等の芸術文化活動の支援

区民等への芸術文化活動支援の一環として、区展及び目黒区美術家協会展など区内3美術団体の展覧会の開催に協力しました。

また、広報活動に関しては、昨年同様SNSの活用を一層強化し掲出頻度を上げました。その結果、SNSトータルのフォロワー数が1,700以上増えました。

(5) 区民ギャラリーの運営

新規利用者の開拓を狙い、貸しギャラリー専用サイトに情報を掲出したことにより、新規の利用や問い合わせが増加しました。

利用率につきましては、2月までは昨年同様に90%を超えていましたが、2月末から新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用の中止が相次いだため、年間の利用率は88.2%となりました。

【資料】新型コロナウイルス感染拡大による影響

(1) 目黒区文化ホール

No	区分	開催日	事業名（略称）	中止・延期等
1	主催事業	3月14日	未来の音シリーズ vol. 30 佐藤晴真（チェロ）	延期 (令和2年10月)
2		3月15日	東日本復興支援コンサート	中止
3	共催事業	3月7日	北野財団混成合唱団 チャリティコンサート	中止
4		3月20日	親子のふれあいコンサート 2020 0歳からの音楽会	中止
5		3月25日～4月6日	第77回全国舞踊コンクール	中止
6	受託事業	3月28日, 3月29日	めぐろオータムアート 音楽と美術のワークショップ	中止
7		2月23日, 3月4日, 3月15日, 3月29日	めぐろで第九 2020 合唱練習	中止 (令和2年6月の本 番も中止)
8	3月7日～3月31日		中目黒 GT プラザホール	休館
9	2月20日～3月31日		大・小・GT プラザホール、利用 中止の件数	189件

(2) 目黒区美術館

No	区分	開催日	事業名（略称）	中止・延期等
1	主催事業	2月22日	トイの日	中止
2		2月23日, 24日	館長トーク	中止
3		2月29日, 3月1日	子どものためのワークショップ	中止
4		3月7日, 3月8日	デザインキャンプ	中止
5		3月14日	ボランティア総会	中止
6		3月14日	大人のための美術カフェ	中止
7		3月20日, 21日	大人のためのワークショップ	中止
8		3月20日	舞踏パフォーマンス「肉体と平面」	中止
9	受託事業	3月28日, 29日	音楽と美術のワークショップ	中止
10	2月20日～3月31日		区民ギャラリー中止の件数	8件

令和元年度 目黒区文化ホール事業報告

★印は新型コロナウイルス感染拡大に対する活動の自粛に伴う中止又は延期した事業

※イベントの定員は、募集時に設定したものであり、これを上回る応募があった場合、会場の定員を超えない限りにおいて、増員することがある。また、入場者数は実際に入場した人数を示し、チケット販売数とは異なる。

第1 自主事業(定款第4条第1項第1号)

1 鑑賞事業

(1) 主催事業 (5 事業=6 公演)

No.	内容	
1 ①	公演名	＜フレッシュ名曲コンサート＞ キャンペーンコンサート 荒井里桜（ヴァイオリン） & 吉見友貴（ピアノ）
	公演日	令和元年6月8日（土）
	会場	小ホール
	料金等	全席指定 500 円
	入場者	181 人【完売】
	概要	令和元年11月9日（土）開催のフレッシュ名曲コンサートに出演する荒井里桜（ヴァイオリン） & 吉見友貴（ピアノ）によるコンサート。 【主催】（公財）目黒区芸術文化振興財団、（公財）東京都歴史文化財団（東京文化会館） 【助成】（公財）東京都歴史文化財団（東京文化会館） 【企画協力】東京オーケストラ事業協同組合
1 ②	公演名	フレッシュ名曲コンサート 煌く2つのコンチェルト、スペクタクルなオーケストラ
	公演日	令和元年11月9日（土）
	会場	大ホール
	料金等	全席指定 S席 3,500 円 A席 2,800 円 学生 1,000 円
	入場者	1,067 人
	概要	（公財）東京都歴史文化財団との共同主催。区民が気軽にクラシック音楽に親しめる機会を提供し、若手新進演奏家をソリストに起用し、活動を支援することを目的としたコンサート。 【出演】飯森範親（指揮）、荒井里桜（ヴァイオリン）、吉見友貴（ピアノ） 東京交響楽団（管弦楽） 【主催】（公財）目黒区芸術文化振興財団、（公財）東京都歴史文化財団（東京文化会館） 【助成】（公財）東京都歴史文化財団（東京文化会館） 【企画協力】東京オーケストラ事業協同組合



2	公演名	目黒区美術館「線の迷宮〈ラビリンス〉Ⅲ 齋藤芽生とフローラの神殿」展 関連イベント ミュージアムコンサート	
	公演日	令和元年 11 月 3 日（日・祝）	
	会場	目黒区美術館 ワークショップ室	
	料金等	全席自由 2,500 円	
	入場者	61 人【完売】	
	概要	目黒区美術館「齋藤芽生とフローラの神殿」展会期中、画家・齋藤芽生の独特の世界観の中で実施した、世界各地で演奏活動を行うインストゥルメンタル・デュオ「mama!milk（ママ・ミルク）」によるコンサート。 【出演】mama!milkー生駒祐子（アコーディオン）、清水恒輔（コントラバス）	
3	公演名	郷古廉×横坂源×加藤洋之 The TRI0	
	公演日	令和元年 12 月 8 日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 一般 3,500 円 学生 2,000 円	
	入場者	186 人【完売】	
	概要	ホール開館 15 周年を記念して開催した「未来の音」シリーズの過去出演者によるガラ・コンサートがきっかけとなり、この組み合わせが実現したコンサート。シューマンのピアノ三重奏曲第 1 番と第 2 番を軸に構成したオール・シューマンプログラムで実施した。	
4	公演名	桂文珍・春風亭小朝・柳家花緑 新春落語三人会	
	公演日	令和 2 年 1 月 9 日（木）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,700 円 A 席 3,200 円	
	入場者	1,164 人【完売】	
	概要	新春恒例の落語会。協賛として頂いたお菓子を、抽選で入場者 30 名に配布した。【協賛】自由が丘 蜂の家	

5	公演名	Ai Kuwabara the Project	
	公演日	令和2年2月22日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 3,000 円	
	入場者	178 人【完売】	
	概要	人気・実力ともに若手No.1ジャズピアニストの桑原あいが、自身のレギュラートリオで再び登場。チケットは発売後早々に完売した。 【協賛】サッポロホールディングス株式会社	

(2) 共催事業 (12 事業＝61 公演)

No.	内容	
1	公演名	気になる三人かい… 柳家喬太郎・桃月庵白酒・春風亭一之輔
	公演日	平成 31 年 4 月 12 日 (金)
	会場	大ホール
	料金等	全席指定 S 席 3,700 円 A 席 3,200 円
	入場者	1,088 人【完売】
	概要	夢空間主催による実力派三人による落語公演。
2	公演名	魂の津軽三味線～高橋竹童 おかげ様で演奏活動 30 周年記念
	公演日	令和元年 5 月 11 日 (土)
	会場	小ホール
	料金等	全席指定 3,800 円 (当日 200 円増)
	入場者	161 人
	概要	津軽三味線の大家・初代高橋竹山の最後の弟子として研鑽を積んだ高橋竹童の演奏活動 30 周年記念コンサート。津軽三味線の名曲を軽妙なトークと共に披露した。
3	公演名	“Tatekawa Blood” 立川志らく・談笑 二人会 ～江戸の風とイリュージョンのはざまに～
	公演日	令和元年 7 月 2 日 (火)
	会場	大ホール
	料金等	全席指定 S 席 3,700 円 A 席 3,200 円
	入場者	1,179 人【完売】
	概要	夢空間主催による落語二人会。



4 ①	公演名	ジャズ・ワールドビート 2019	
	公演日	令和元年 7 月 6 日（土）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 一般 6,500 円（区民割 500 円引き） 高校生以下 3,000 円 1 日通し券 9,000 円	
	入場者	828 人	
	概要	ジャズやワールドミュージックの奏者が一堂に会する、(株) プラントトン主催のジャズフェスティバル。 【出演】 たをやめオルケスタ、ジェントル・フォレスト・ジャズ・バンド、ファンファーレ・チョコリニア <ゲスト>アモーレ&ルル、Nourah、白崎映美	
4 ②	公演名	アフタヌーン・サロン・ジャズ	
	公演日	令和元年 7 月 6 日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 4,000 円（区民割 500 円引き）	
	入場者	132 人	
	概要	ジャズやワールドミュージックの奏者が一堂に会する、(株) プラントトン主催のジャズフェスティバル。 【出演】 藤本一馬&伊藤志宏 Duo、白崎映美 with 伏見蛍、Tokyo Romany、nouon Unplugged	
5 ①	公演名	Music Dialogue 一室内楽を通じて音楽家と対話する	
	公演日	令和元年 7 月 9 日（火）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 一般 4,000 円 学生 2,000 円	
	入場者	171 人	
	概要	一般社団法人 Music Dialogue 主催による、レクチャー付室内楽公演。 【出演】 上田晴子（ピアノ）、水谷晃（ヴァイオリン）、戸原直（ヴァイオリン）、大山平一郎（ヴィオラ）、加藤大輔（ヴィオラ）、笹沼樹（チェロ）	

5 ②	公演名	Music Dialogue 字幕実況解説付き 公開リハーサル	
	公演日	令和元年 9 月 17 日 (火)	
	会場	中目黒 GT プラザホール	
	料金等	全席自由 一般 2,000 円 学生 500 円	
	入場者	70 人	
	概要	一般社団法人 Music Dialogue 主催による、室内楽の公開リハーサル。目の前のリハーサルで行われていることの意味や話されている用語などについて、前方のスクリーンに映した字幕で解説を加えながら進行した。 【出演】石上真由子 (ヴァイオリン)、伊東真奈 (ヴァイオリン)、大山平一郎 (ヴィオラ)、中恵菜 (ヴィオラ)、金子鈴太郎 (チェロ) 辻本玲 (チェロ)	
6 ① ② ③	公演名	Noism15 周年記念公演「Mirroring Memories—それは尊き光のごとく」／新作「Fratres I」	
	公演日	①令和元年 7 月 26 日 (金) ②令和元年 7 月 27 日 (土) ③令和元年 7 月 28 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 一般 5,500 円 U25 (25 歳以下) 3,500 円	
	入場者	①428 人 ②413 人 ③490 人	
	概要	りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館の専属舞踊団「Noism」(芸術監督:金森穰)の設立 15 周年記念公演。東京公演は、当ホールのみの実施。	
7	公演名	ANRI LIVE 2019 Special Symphonic Live	
	公演日	令和元年 8 月 3 日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 一般 6,200 円 小中学生 1,000 円	
	入場者	1,100 人【完売】	
	概要	東京労音主催による杏里のデビュー40周年を記念した特別ヴァージョンの編成でのライブ。	

8 ① ②	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 東京バレエ学校 スクール・パフォーマ ンス	
	公演日	①令和元年8月20日(火) ②令和元年8月21日(水)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 大人(高校生以上) 2,000円 子ども(4歳~中学生) 1,000円	
	入場者	①1,120人 ②1,105人	
	概要	東京バレエ学校生徒による公演。	
8 ③	公演名	第7回めぐろバレエ祭り プロのダンサーと話そう！	
	公演日	令和元年8月20日(火) 18時30分~20時00分	
	会場	大ホールホワイエ	
	料金等	参加費 500円	
	入場者	10人【定員20名】	
	概要	中学生から大学生を対象とした、東京バレエ団所属ダンサーと直接話せるイベント。	
8 ④	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 大人のためのヴァリエーション・クラス 川島麻実子の「キトリ」に挑戦！	
	公演日	令和元年8月21日(水)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 3,500円(18歳以上)	
	入場者	38人【定員40名】	
	概要	東京バレエ団プリンシパルの川島麻実子が、ドン・キホーテ第3幕の「キトリ」の 結婚式での踊りを指導した。	

8 ⑤	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 上原彩子による子どものための「くるみ 割り人形」 ～ピアノと絵とお話で綴る夢の世界～	
	公演日	令和元年8月22日（木）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 大人 3,000 円 4 歳以上中学生以下 2,000 円	
	入場者	110 人	
	概要	絵本作家下田冬子の絵を背景に、上原彩子によるプレトニョフ編曲版のピアノ演奏とお話で構成されたコンサート。	
8 ⑥ ⑦ ⑧	公演名	第7回めぐろバレエ祭り はじめてのバレエ	
	公演日	①令和元年8月22日（木）13時30分開始 ②令和元年8月22日（木）14時30分開始 ③令和元年8月23日（金）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 800 円	
	入場者	①80 人【定員 40 名】 ②75 人【定員 40 名】 ③78 人【定員 40 名】	
	概要	3 歳から 6 歳までのバレエ未経験の子どもを対象にした体験レッスン。	
8 ⑨ ⑩ ⑪	公演名	第7回めぐろバレエ祭り もっと上手に	
	公演日	①令和元年8月22日（木） ②令和元年8月23日（金）11時30分開始 ③令和元年8月23日（金）13時開始	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 800 円	
	入場者	①74 人【定員 40 名】 ②82 人【定員 40 名】 ③75 人【定員 40 名】	
	概要	バレエ歴 1 年以上の小学 1 年生から小学 3 年生以上の男女を対象にした体験レッスン。	

8 ⑫	公演名	第7回めぐろバレエ祭り ノンフィクションW パリ・オペラ座 オニール八菜 夢の中で踊る	
	公演日	令和元年8月22日(木)	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料(事前申込制)	
	入場者	60人【定員90名】	
	概要	2016年バレエ界のアカデミー賞といわれるブノワ賞を受賞し、世界のトップダンサーの仲間入りを果たしたオニール八菜。東京でバレエを学んだ彼女がパリ・オペラ座バレエ団で踊る現在と未来の姿を描いた映像を上映した。	
8 ⑬	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 大貫勇輔スペシャル・ワークショップ	
	公演日	令和元年8月22日(木)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 3,500円(18歳以上の男女)	
	入場者	45人【定員40名】	
	概要	バレエをはじめ、ジャズ、コンテンポラリー、ストリート、アクロバット等、多彩に輝く大貫勇輔によるワークショップ。	
8 ⑭ ⑮ ⑯	公演名	第7回めぐろバレエ祭り ミニトゥーシューズにデコレーションしよう!	
	公演日	令和元年8月23日(金) ①10時開始②11時30分開始③13時開始	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	参加費 ①②は1,800円(小学生対象) ③3,600円(1組2名、親子ペア参加)	
	入場者	①50人【定員50名】 ②50人【定員50名】 ③50人【定員25組50名】	
	概要	ミニトゥーシューズにデコレーションして華やかなキーホルダーを製作するワークショップ。	

8 ⑪ ⑫	公演名	第7回めぐろバレエ祭り ティアラをつくろう！	
	公演日	令和元年8月23日（金） ①14時30分開始②16時開始	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	参加費 3,000 円	
	入場者	①50人【定員50名】 ②50人【定員50名】	
	概要	小学生を対象にした、ビーズなどを飾りつけて光る自分だけのティアラを作るワークショップ。	
8 ⑬	公演名	第7回めぐろバレエ祭り トゥーシューズを知ろう	
	公演日	令和元年8月23日（金）	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料（小学1年生以上）	
	入場者	40人【定員50名】	
	概要	プロの職人によるトゥーシューズが出来上がるまでの実演とレクチャー。	
8 ⑭	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 東京バレエ団 クラス・レッスン見学会	
	公演日	令和元年8月24日（土）	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	650人【定員800名】	
	概要	小学生以上を対象。東京バレエ団ダンサーたちのクラス・レッスンを特別公開した。	

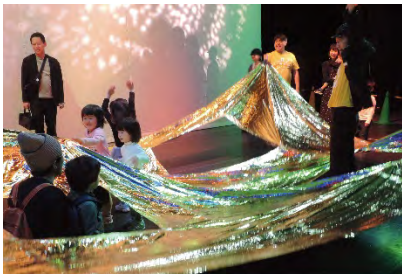
8 ②① ②② ②③	公演名	第7回めぐろバレエ祭り みて！きいて！一緒に！こども音楽会	
	公演日	令和元年8月24日（土）①10時30分 開始②11時30分開始③12時30分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 1組 1,000 円	
	入場者	①80人【定員 45組 90名】 ②62人【定員 45組 90名】 ③60人【定員 45組 90名】	
	概要	6ヵ月から3歳までのこどもとその親と一緒に、弦楽器、管楽器、ピアノによるバレエ音楽を楽しめる音楽会。	
8 ②④ ②⑤	公演名	第7回めぐろバレエ祭り キトリのちょうちん作りにチャレンジ！	
	公演日	①令和元年8月24日（土） ②令和元年8月25日（日）	
	会場	リハーサル室	
	料金等	参加費 2,000 円	
	入場者	①24日 50人（延べ人数） ②25日 50人（延べ人数）	
	概要	小学生以上を対象。「ドン・キホーテ」の登場人物キトリのように、明るい色の貼紙を貼りあわせて光るちょうちんを作るワークショップ。	
8 ②⑥ ②⑦	公演名	第7回めぐろバレエ祭り キラキラ★デコ風鈴作りにチャレンジ！	
	公演日	①令和元年8月24日（土） ②令和元年8月25日（日）	
	会場	第2練習室	
	料金等	参加費 800 円	
	入場者	①24日 50人（延べ人数） ②25日 50人（延べ人数）	
	概要	5歳以上対象。スパンコールや飾りを付けてバレリーナの衣装のような風鈴を制作するワークショップ。	

8 ⑳ ㉑	公演名	第7回めぐろバレエ祭り サマー・バレエ・コンサート	
	公演日	令和元年8月24日(土) ①12時開演 ②15時30分開演	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S席5,000円 A席4,000円 中学生以下S席2,500円 A席2,000円	
	入場者	①1,000人 ②1,100人	
	概要	ワガノワ生誕140年記念として「ディアナとアクテオン」、プティパの傑作「海賊」より“パ・ド・トロワ”やプティパ振付「ライモンダ」の他、東京バレエ団所属ダンサーの振付作品を上演した。	
8 ㉒	公演名	第7回めぐろバレエ祭り ワガノワの時代	
	公演日	令和元年8月24日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 大人1,000円 中学生以下800円	
	入場者	147人	
	概要	生誕140年を迎えた振付家ワガノワの生涯と、その実績を知るレクチャー。	
8 ㉓	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 「バヤデルカ」の群舞を踊ろう！	
	公演日	令和元年8月24日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費8,000円	
	入場者	80人【定員40名】	
	概要	20歳以上の女性で、バレエ歴3年以上を対象にした名作「バヤデルカ」のコール・ド・バレエ（群舞）を体験できる特別企画。	

8 ③② ③③	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 小林十市振付 スーパーバレエ MIX BON 踊り+プロジェクションマッピング花火 大会	
	公演日	令和元年8月24日(土) ①14時30分開始 ②18時開始	
	会場	八雲体育館	
	料金等	入場無料	
	入場者	①600人 ②500人	
	概要	小林十市振付によるめぐろバレエ祭り恒例のBON踊りを、プロジェクションマッピングの迫力ある花火とともに、昨年に引き続き、隣接の八雲体育館で実施した。初めてミニゲーム縁日も開催し、めぐろバレエ祭りの来場者をはじめ、多くの区民キャンパス利用者や近隣住民も来場した。	
8 ③④ ③⑤	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 親子でバレエ・ストレッチ	
	公演日	令和元年8月25日(日) ①9時15分開始 ②10時15分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 1組800円	
	入場者	①42人【定員20組40名】 ②40人【定員20組40名】	
	概要	①は4歳から6歳とその保護者、②は小学1年生～小学4年生とその保護者が東京バレエ学校教師の指導で親子一緒にストレッチの体験ができるイベント。	
8 ③⑥	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 20世紀バレエを語る	
	公演日	令和元年8月25日(日)	
	会場	リハーサル室	
	料金等	入場無料(小学生以上)	
	入場者	20人【定員20名】	
	概要	東京バレエ団ソリストで、勅使河原三郎作品への出演や振付の実績がある岡崎準也と現代のバレエについてのトークイベント。	

8 ③⑦	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 宮川新大による女性のためのバレエレッスン初級	
	公演日	令和元年8月25日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 2,000 円	
	入場者	35 人【定員 34 名】	
	概要	バレエ歴1年以上の女性を対象にした、東京バレエ団プリンシパルの宮川新大による初心者向けレッスン。	
8 ③⑧	公演名	第7回めぐろバレエ祭り セギディーリャを踊ろう	
	公演日	令和元年8月25日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 3,000 円	
	入場者	79 人【定員 40 名】	
	概要	バレエ歴3年以上の小学校1年生～高校3年生対象。古典バレエの傑作「ドン・キホーテ」の群舞を、東京バレエ団プリンシパルの沖香菜子、秋元康臣が指導した。	
8 ③⑨ ④⑩	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 子どものためのバレエ 「ドン・キホーテの夢」	
	公演日	令和元年8月25日（日） ①11時30分開演 ②14時30分開演	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S席 5,000 円 A席 4,000 円 中学生以下 S席 2,500 円 A席 2,000 円	
	入場者	①1,150 人 ②1,171 人	
	概要	東京バレエ団による子どものためにアレンジした本格バレエ「ドン・キホーテの夢」の上演。初めてバレエ鑑賞する大人やバレエファンも楽しめる人気公演。	

8 ④①	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 上野水香の「金平糖」レッスン	
	公演日	令和元年8月25日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 6,000 円	
	入場者	80 人【定員 30 名】	
	概要	18 歳以下でトゥーシューズ歴 2 年以上対象。日本を代表するバレリーナ上野水香がくるみ割り人形の「金平糖の踊り」を指導した。	
8 ④②	公演名	第7回めぐろバレエ祭り 東京バレエ団 ファン・ミーティング	
	公演日	令和元年8月25日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 1,500 円（4 歳以上）	
	入場者	165 人	
	概要	東京バレエ団のプリンシパル、ファーストソリストたちが参加し、海外公演のエピソード披露や質問コーナーでファンと交流した。	
8 ④③ ④④	公演名	第7回めぐろバレエ祭り ぬり絵であそぼう！	
	公演日	①令和元年8月24日（土） ②令和元年8月25日（日）	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	入場無料（所要時間は一人 20 分）	
	入場者	①500 人（延べ人数） ②600 人（延べ人数）	
	概要	バレエ作品で有名な漫画家 榎村さとるが描きおろした絵のぬり絵コーナー。	

9	公演名	柳の家の三人会	
	公演日	令和元年 10 月 18 日（金）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,700 円　A 席 3,200 円	
	入場者	1,157 人【完売】	
	概要	夢空間主催の落語会。 【出演】柳亭市馬、柳家喬太郎、柳家三三	
10 ① ②	公演名	コンドルズの遊育計画 2019	 
	公演日	①令和元年 11 月 3 日（日・祝）11 時開演 ②令和元年 11 月 3 日（日・祝）15 時開演	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 大人 2,500 円　子ども 1,500 円（小学生以下）	
	入場者	①552 人　②501 人 （1 階席 5 列目以降の販売）	
	概要	株式会社NHKエデュケーショナル主催による、あそびの楽しさを体験できる参加型ファミリーイベント。【出演】コンドルズ	
11 ① ②	公演名	THE PIANO ERA 2019	
	公演日	①令和元年 11 月 30 日（土） ②令和元年 12 月 1 日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 《単日券》前売 6,800 円/当日券 7,800 円 《通し券》12,800 円 （高校生・大学生 1,000 円引き、小中学生 2,000 円引き）	
	入場者	①539 人　②905 人	
	概要	クラシックやジャズなどのジャンルにこだわらず、国内外で活躍するピアノ音楽を創造するアーティストを集め、2 年ぶりに実施した。	

12	公演名	新春！デキシーランド・ジャズ・ジャンボリーvol.12	
	公演日	令和2年1月11日（土）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定　S席 5,500 円　A席 5,000 円 E席 1,500 円（当日券は 500 円増）	
	入場者	909 人	
	概要	一般社団法人日本ポピュラー音楽協会主催によるビッグバンドジャズコンサート。 出演は、有馬靖彦とデキシーファイブ、デキシーキャッスル、中川喜弘とデキシー サミット with 中川英二郎、外山喜雄とデキシーセインツ、藺田憲一とデキシーキ ングス。	

2 地域の芸術文化・支援事業

(1) 主催事業 (3 事業=2 公演、1 関連企画 ※1公演中止、1 公演延期)

No.	内容	
1	公演名	めぐろパーシモンホール 第8回避難訓練コンサート
	公演日	平成31年4月28日(日)
	会場	大ホール
	料金等	全席指定、入場無料(事前申込制)
	入場者	539人【予定枚数終了、定員600名】
	概要	コンサート中の災害に備えるために、観客、出演者共に避難訓練に参加する公演。昨年に引き続き、震度6弱の地震があったことを想定して実施した。出演者は、警視庁音楽隊、警視庁音楽隊カラーガード(MEC)。 【後援】目黒区 【協賛】サクマ製菓(株) 【協力】碑文谷警察署、東京急行電鉄(株)
2 ①	公演名	未来の音シリーズ vol.29 大関万結(ヴァイオリン)
	公演日	令和2年1月11日(土)
	会場	小ホール
	料金等	全席指定 2,500円
	入場者	179人【完売】
	概要	新進気鋭の若手演奏家が出演する「未来の音」シリーズ。 2017年第86回日本音楽コンクール第1位、さらに聴衆賞、全部門で最も印象的な演奏家に贈られる増沢賞を獲得した大関万結が、多彩なプログラムを熱演した。
2 ②	公演名	未来の音シリーズ vol.30 佐藤晴真(チェロ)
	公演日	令和2年3月14日(土)
	会場	小ホール
	料金等	全席指定 2,500円【完売】
	概要	新進気鋭の若手演奏家が出演する「未来の音」シリーズ。 第83回日本音楽コンクール チェロ部門第1位をはじめ、2019年9月、伝統と権威ある難関コンクールであるミュンヘン国際音楽コンクールで日本人初の優勝を受賞した佐藤晴真(チェロ)のコンサートを予定していたが、令和2年10月4日(日)に延期した。
	★延期	



3 ①	公演名	東日本大震災復興支援コンサート	★中止
	公演日	令和2年3月15日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 1,000 円【完売】	
	概要	今回で5回目の開催となる目黒区友好都市 宮城県気仙沼市と目黒区の音楽家たちによる東日本大震災復興支援コンサート。同日の開催イベントで宮城県気仙沼市物産展&震災復興写真展、また、3月上旬には宮城県気仙沼市へのアウトリーチプログラムを予定していた。なお、チケット収益の一部を宮城県気仙沼市に寄付した。 【助成】一般財団法人地域創造	
3 ②	公演名	東日本大震災復興支援コンサート 関連企画 気仙沼漁師カレンダー展 関連企画 復興写真展	
	公演日	■気仙沼漁師カレンダー展 令和2年2月4日（火）～ 令和2年3月15日（日） ■復興写真展 令和2年3月3日（火）～ 令和2年3月31日（火）	
	会場	めぐろ区民キャンパス地下1階プラザ	
	料金等	入場無料	
	概要	宮城県気仙沼市の女将たちが街の宝を発信したいという思いから誕生した「気仙沼漁師カレンダー」（写真家 前康輔）。カレンダーを企画した「気仙沼つばき会」の活動にも焦点をあてたカレンダー展を開催した。 【助成】一般財団法人地域創造	

(2) 共催事業 (11 事業=12 公演 ※3事業中止)

No.	内容	
1	公演名	目黒区東山オーケストラ 第 25 回定期演奏会
	公演日	平成 31 年 4 月 14 日 (日)
	会場	大ホール
	料金等	入場無料
	入場者	1,100 人
	概要	めぐろパーシモン芸術文化ネットワークの一団体である目黒区東山オーケストラ主催 (目黒区立東山小学校特設管弦楽クラブと、そのOB・OGによる構成) によるオーケストラ公演を実施し、多くの来場者が集った。
2 ① ②	公演名	東京インターアーツ目黒 和草 (にこぐさ) コンサート
	公演日	令和元年 5 月 18 日 (土) ①15 時開演 ②18 時開演
	会場	中目黒G Tプラザホール
	料金等	全席自由 一般 3,000 円 学生 1,500 円 (小中高)、親子ペア券 (一般+小中高生) 4,000 円 未就学児無料
	入場者	①108 人 ②49 人
	概要	東京インターアーツ目黒支部主催による邦楽と洋楽のコラボレーションの演奏会で、英文のプログラムを配布するなど、国際親善交流の一助となった。
3	公演名	目黒吹奏楽団第 39 回定期演奏会
	公演日	令和元年 6 月 9 日 (日)
	会場	大ホール
	料金等	入場無料
	入場者	1,252 人 (延べ人数)
	概要	めぐろパーシモン芸術文化ネットワーク (5 団体) のうちの 1 団体である目黒吹奏楽団主催の定期演奏会。



4	公演名	第 76 回全国舞踊コンクール アンコール公演	
	公演日	令和元年 6 月 15 日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 2,500 円 当日券 2,800 円	
	入場者	964 人	
	概要	東京新聞主催による全国舞踊コンクールの上位入賞者（第 76 回全国舞踊コンクール各部門 3 位までの入賞者）による公演。	
5	公演名	第 66 回児童舞踊合同公演	
	公演日	令和元年 6 月 16 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 2,000 円	
	入場者	1,081 人	
	概要	東京新聞主催による児童舞踊団体の小作品発表やテーマ作品発表等の合同公演。	
6	公演名	目黒ユネスコチャリティーコンサート 2019 鍵盤男子 大井健・中村匡宏	
	公演日	令和元年 6 月 23 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 一般 3,500 円 学生 2,000 円 ペア券 5,500 円	
	入場者	1,100 人【完売】	
	概要	NPO 法人目黒ユネスコ協会主催によるチャリティーコンサート。	

7	公演名	伝統文化「能」に親しむ	
	公演日	令和元年6月29日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 500 円	
	入場者	100 人【完売】	
	概要	（公財）北野生涯教育振興会主催による「身近な場所で日本の伝統文化に親しむシリーズ」。 【講師】井上療治（療の会会主）	
8	公演名	第138回東京マンドリン宮田楽団定期演奏会	
	公演日	令和元年6月30日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料（事前申込制）	
	入場者	1,056 人	
	概要	目黒区で活動している東京マンドリン宮田楽団による定期演奏会。	
9	公演名	第17回パーシモンほたる祭り	
	公演日	令和元年7月7日（日）	
	会場	大ホール、小ホール めぐろ区民キャンパス	
	料金等	入場無料	
	入場者	来場者 7,852 人 （ほたる観賞 3,000 人含む）	
	概要	周辺の小学校、中学校、高等学校、町会、都立大学商店街連合会等が参加した実行委員会形式による事業。今年は雨天のため、規模を縮小して実施した。	
※	公演中止	令和元年10月13日（日）に実施予定だった第26回めぐろ童謡コンサート（大ホール）は、台風19号の影響により公演中止となった。	

10	公演名	身体で聴こう音楽会 第 251 回定期コンサート	
	公演日	令和元年 12 月 15 日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料（事前申込制）	
	入場者	126 人	
概要		パイオニア株式会社主催による聴覚障害の方に音楽を楽しんで頂くために“体感音響システム（ボディソニック）”を使い、手話通訳や字幕なども活用しながら、障害のある人も無い人も一緒に楽しめるコンサート。 【出演】津軽三味線 敏篤会、ハートフル・メッセンジャーズ、フィルハーモニッシャー・コール	
11	公演名	目黒区民交響楽団 創立 45 周年記念 第 90 回定期演奏会	
	公演日	令和元年 12 月 15 日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 1,000 円	
	入場者	1,045 人	
概要		めぐろパーシモン芸術文化ネットワークの加盟団体である目黒区民交響楽団主催による創立 45 周年記念コンサート。	
12	公演名	北野財団混成合唱団 第 2 回 チャリティーコンサート	★中止
	公演日	令和 2 年 3 月 7 日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 1,000 円	
概要		（公財）北野生涯教育振興会主催によるチャリティーコンサートを予定していた。 【出演】中山博之（ピアノ）、大成雅志（クラリネット）、荒牧小百合（指揮） 竹内雅孝（指揮）、公募による合唱団（半年間の練習期間）	

13	公演名	親子のためのふれあいコンサート 2020 0 歳からの音楽会～響けアルプホルン	★中止
	公演日	令和 2 年 3 月 20 日（金・祝） ①11 時開演 ②14 時 30 分開演	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 前売券 2,500 円 当日券 3,000 円	
	概要	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団が主催する 0 歳からの入場可能なコンサートを予定していた。 【出演】稲田康（指揮）、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団 竹田年志とアルプス音楽団	
14	公演名	第 77 回全国舞踊コンクール	★中止
	公演日	令和 2 年 3 月 25 日（水）～ 令和 2 年 4 月 6 日（月）	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	概要	旧目黒区公会堂の開館時から開催され、日本を代表する舞踊家を多数輩出している東京新聞主催の舞踊の全国大会を予定していた。	

3 体験・普及事業

(1) 主催事業 (4 事業＝39 公演)

No.	内容		
1 ①	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年7月2日（火）	
	会場	目黒区立月光原小学校	
	入場者	小学4年生 39人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】小林武文（パーカッション）、相川瞳（パーカッション）、上原なな江（パーカッション） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	
1 ②	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年7月2日（火）	
	会場	目黒区立向原小学校	
	入場者	小学5、6年生 76人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】郷古廉（ヴァイオリン）、加藤洋之（ピアノ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【共催】NPO 法人子どもに音楽を 【後援】目黒区教育委員会	
1 ③	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年7月4日（木）	
	会場	目黒区立田道小学校	
	入場者	小学5年生 65人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、二宮聡美（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	

1 ④	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年7月8日（月）	
	会場	目黒区立大岡山小学校	
	入場者	小学4年生 102 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】 荒牧小百合（ソプラノ）、原田勇雅（バリトン）、矢野里奈（ピアノ） 【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】 目黒区教育委員会 【協賛】（公財）北野生涯教育振興会 【企画・協力】 NPO 法人日本声楽家協会	
1 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年7月10日（水）	
	会場	目黒区立第八中学校	
	入場者	中学2年生 91 人 （特別支援学級生徒含む）	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】 藤井冨（ソプラノ）、小林大祐（バリトン）、大野真由子（ピアノ） 【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】 目黒区教育委員会 【協賛】（公財）北野生涯教育振興会 【企画・協力】 NPO 法人日本声楽家協会	
1 ⑥	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年7月11日（木）	
	会場	目黒区立第九中学校	
	入場者	中学1年生 60 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】 荒牧小百合（ソプラノ）、原田勇雅（バリトン）、矢野里奈（ピアノ） 【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】 目黒区教育委員会 【協賛】（公財）北野生涯教育振興会 【企画・協力】 NPO 法人日本声楽家協会	

1 ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年8月29日(木)、30日(金)	
	会場	目黒区立東根小学校	
	入場者	小学4年生120人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】小林武文(パーカッション)、相川瞳(パーカッション)、上原なな江(パーカッション) 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	
1 ⑧	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年9月6日(金)	
	会場	目黒区立五本木小学校	
	入場者	小学4年生75人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】向山佳絵子(チェロ)、広海滋子(ピアノ) 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 【共催】NPO法人子どもに音楽を 【後援】目黒区教育委員会	
1 ⑨	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年9月11日(水)	
	会場	目黒区立駒場小学校	
	入場者	小学6年生74人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】熱帯JAZZ楽団 カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース) 荒川琢哉(コンガ) 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	

1 ⑩	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年 9 月 20 日（金）	
	会場	目黒区立第十一中学校	
	入場者	中学 2 年生 62 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】 愛もも胡（ソプラノ）、布施雅也（バリトン）、矢野里奈（ピアノ） 【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】 目黒区教育委員会 【企画・協力】 NPO 法人日本声楽家協会	
1 ⑪	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年 9 月 24 日（火）	
	会場	目黒区立宮前小学校	
	入場者	小学 4 年生 51 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】 南紫音（ヴァイオリン）、福田悠一郎（ヴァイオリン）、大須賀恵里（ピアノ） 【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【共催】 NPO 法人子どもに音楽を 【後援】 目黒区教育委員会	
1 ⑫	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年 9 月 27 日（金）	
	会場	目黒区立中目黒小学校	
	入場者	小学 6 年生 79 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】 熱帯 JAZZ 楽団 カルロス菅野（パーカッション）、奥山勝（ピアノ）、澁谷和利（ベース） 荒川琢哉（コンガ） 【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】 目黒区教育委員会	

1 ⑬	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年 10 月 3 日（木）	
	会場	目黒区立緑ヶ丘小学校	
	入場者	小学 4～6 年生 100 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】高見信行（トランペット）、城綾乃（ピアノ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	
1 ⑭	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年 10 月 11 日（金）	
	会場	目黒区立菅刈小学校	
	入場者	小学 4、5 年生 90 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】原田照久（トランペット）、片野和泉（トランペット）、根本めぐみ（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	
1 ⑮	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年 11 月 7 日（木）	
	会場	目黒区立烏森小学校	
	入場者	小学 5 年生 64 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】鶴木絵里（ソプラノ）、土崎譲（テノール）、松本康子（ピアノ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会 【企画・協力】NPO 法人日本声楽家協会	

1 ⑩	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年 11 月 22 日 (金)	
	会場	目黒区立中根小学校	
	入場者	小学 4 年生 69 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】原田照久 (トランペット)、日置綾乃 (トランペット)、豊田実加 (ホルン)、廣田純一 (トロンボーン)、山崎勇太 (チューバ) 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	
1 ⑪	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年 11 月 28 日 (木)	
	会場	目黒区立大鳥中学校	
	入場者	中学 2 年生 145 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】高橋竹童 (津軽三味線・胡弓・琉球三線・尺八) 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	
1 ⑫	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年 12 月 13 日 (金)	
	会場	目黒区立下目黒小学校	
	入場者	小学 5、6 年生 120 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】熱帯 JAZZ 楽団 カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、澁谷和利 (ベース) 荒川琢哉 (コンガ) 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	

1 ⑱	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和元年 12 月 13 日（金）	
	会場	目黒区立原町小学校	
	入場者	小学 5、6 年生 76 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】読売日本交響楽団メンバー 田中敏雄（トランペット）、尹千浩（トランペット）、久永重明（ホルン） 栗田晃（トロンボーン）、次田心平（チューバ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	
1 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和 2 年 1 月 23 日（木）	
	会場	目黒区立不動小学校	
	入場者	小学 5 年生 85 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、二宮聡美（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	
1 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和 2 年 1 月 24 日（金）	
	会場	目黒区立第十中学校	
	入場者	中学 2 年生 118 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】白石光隆（ピアノ）、森岡有裕子（フルート） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	

1 ②②	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和2年2月3日（月）	
	会場	目黒区立鷹番小学校	
	入場者	小学6年生 76人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】正戸里佳（ヴァイオリン）、大須賀恵里（ピアノ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【共催】NPO 法人子どもに音楽を 【後援】目黒区教育委員会	
1 ②③	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和2年2月4日（火）	
	会場	目黒区立東山小学校	
	入場者	小学6年生 160人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】熱帯 JAZZ 楽団 カルロス菅野（パーカッション）、奥山勝（ピアノ）、澁谷和利（ベース） 荒川琢哉（コンガ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	
1 ②④	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和2年2月6日（木）	
	会場	目黒区立八雲小学校	
	入場者	小学5、6年生 129人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、二宮聡美（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	

1 ②5	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和2年2月17日（月）	
	会場	目黒区立油面小学校	
	入場者	小学4年生 83人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】鈴木広志（サクソフォン）、東涼太（サクソフォン）、上運天淳市（サクソフォン） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	
1 ②6	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和2年2月25日（火）	
	会場	目黒区立上目黒小学校	
	入場者	小学5、6年生 43人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】藤井冨（ソプラノ）、小林大祐（バリトン）、大野真由子（ピアノ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【企画・協力】NPO法人日本声楽家協会 【後援】目黒区教育委員会	
1 ②7	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	令和2年2月25日（火）	
	会場	目黒区立碑小学校	
	入場者	小学6年生 110人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】横坂源（チェロ）、加藤洋之（ピアノ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【共催】NPO法人子どもに音楽を 【後援】目黒区教育委員会	

2 ①	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	令和元年7月16日（火）	
	会場	目黒区立みどりがおかこども園	
	入場者	3歳児～5歳児 90人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 島裕介（トランペット・フルート）、齋藤純一（ギター）、小山豊（三味線） 【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】 目黒区教育委員会	
2 ②	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	令和元年7月18日（木）	
	会場	目黒区立げっこうはらこども園	
	入場者	3歳児～5歳児 80人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 島裕介（トランペット・フルート）、齋藤純一（ギター）、小山豊（三味線） 【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】 目黒区教育委員会	
2 ③	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	令和元年10月30日（水）	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム東山	
	入場者	50人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子（ヴァイオリン）、横田由美（ヴァイオリン）、油谷伸一（ヴィオラ）、橋本安男（チェロ）、山本紀子（司会）	

2 ④	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	令和元年 11 月 6 日（水）	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム中目黒	
	入場者	50 人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子（ヴァイオリン）、横田由美（ヴァイオリン）、油谷伸一（ヴィオラ）、橋本安男（チェロ）、村上千香（司会）	
2 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	令和元年 11 月 20 日（水）	
	会場	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	
	入場者	250 人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 東京音楽大学学生メンバー 菅沼千尋（ソプラノ）、中島理加（ヴァイオリン）、田中彩渚（ピアノ） 【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会	
2 ⑥	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	令和元年 12 月 4 日（水）	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム東が丘	
	入場者	60 人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子（ヴァイオリン）、横田由美（ヴァイオリン）、油谷伸一（ヴィオラ）、橋本安男（チェロ）、村上千香（司会）	

2 ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	令和元年12月9日（月）	
	会場	目黒区心身障害者センター あいアイ館	
	入場者	60人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 鶴木絵里（ソプラノ）、土崎譲（テノール）、松本康子（ピアノ） 【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【企画・協力】 NPO 法人日本声楽家協会	
2 ⑧	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	令和2年1月16日（木）	
	会場	目黒区立ひがしやま幼稚園	
	入場者	4、5歳児 70人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 中丸達也（パーカッション）、宮本まいこ（スティールパン）、宮野下シリウ（マリンバ） 【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会	
3 ①	公演名	子どものためのワークショップ2019 演劇入門ワークショップ	
	公演日	令和元年6月30日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 1,500円	
	入場者	参加者 32人【定員 30名】	
	概要	日本を代表する劇作家・演出家である平田オリザ氏の指導を直接受けられる 都内で唯一の人気演劇ワークショップ。 【対象者】 中学生、高校生 【講師】 平田オリザ（劇作家、演出家） 【協賛】 （公財）北野生涯教育振興会 【協力】 有限会社アゴラ企画	

3 ②	公演名	子どものためのワークショップ 2019 ダンスワークショップ	
	公演日	令和元年7月23日(火)～25日(木) *最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 1,500 円 発表会 入場無料	
	入場者	参加者 26 人【定員 20 名】 発表会 62 人	
	概要	3 日間のワークショップを通して、ホールオリジナルの作品を作り上げ、最終日に発表会を行うダンスワークショップ。 【対象者】 小学3年生から小学6年生 【講師】 近藤良平 (コンドルズ主宰、振付家、ダンサー) 【協賛】 (公財) 北野生涯教育振興会	
3 ③	公演名	子どものためのワークショップ 2019 演劇&ダンスワークショップ	
	公演日	*ワークショップ 令和元年7月16日(火)、18日(木) 21日(日)、23日(火)～26日(金) *発表会 ①令和元年7月27日(土) 14時開演 ②令和元年7月27日(土) 16時30分開演	
	会場	小ホール、リハーサル室	
	料金等	参加費 3,500 円 発表会 300 円 (高校生以下無料)	
	入場者	参加者 22 人【定員 20 名】 発表会 ①47 人 ②56 人	
	概要	7 日間のワークショップを通して、ホールオリジナルの作品を作り上げ、最終日に発表会を行う演劇とダンスのコラボレーションワークショップ。 【対象者】 中学1年生から高校3年生 【講師】 大池容子 (うさぎストライブ主宰、劇作家、演出家) 香取直登 (ケミカル3 主宰、振付家、ダンサー、コンドルズメンバー) 【協賛】 (公財) 北野生涯教育振興会	
4	公演名	歌舞伎でめぐる 大人の演劇ワークショップ発表会	
	公演日	令和元年9月21日(土)～ 令和2年2月11日(火・祝) *全10回 最終日が発表会	
	会場	小ホール、中目黒GTプラザホール、 大ホールホワイエ等	
	料金等	参加費 5,000 円 発表会 全席自由 500 円	
	入場者	参加者 25 人【定員 20 名】 入場者 109 人	

	概要	歌舞伎（歌舞伎に登場する4人の女性にまつまる石碑、塚、銅像が区内にある）にゆかりのある目黒区。木ノ下歌舞伎の木ノ下裕一氏によるレクチャー、フィールドワークを行いながら、4人の女性を題材に演劇を創作した。 【講師】ままごと（柴幸男、宮永琢生、大石将弘、端田新菜、加藤仲葉、石倉来輝、小山薫子）
--	----	---

令和元年度 めぐろパーシモンホールアウトリーチプログラム 実績一覧

月／日	施設名	参加者	出演者
7月2日(火)	月光原小学校	4年生 39人	小林武文(パーカッション)、相川瞳(パーカッション)、 上原なな江(パーカッション)
7月2日(火)	向原小学校	5、6年生 76人	郷古廉(ヴァイオリン)、加藤洋之(ピアノ)
7月4日(木)	田道小学校	5年生 65人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、 二宮聡美(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、 山崎勇太(チューバ)
7月8日(月)	大岡山小学校	4年生 102人	荒牧小百合(ソプラノ)、原田勇雅(バリトン)、 矢野里奈(ピアノ)
7月10日(水)	第八中学校	2年生 91人	藤井冴(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、 大野真由子(ピアノ)
7月11日(木)	第九中学校	1年生 60人	荒牧小百合(ソプラノ)、原田勇雅(バリトン)、 矢野里奈(ピアノ)
8月29日(木) 8月30日(金)	東根小学校	4年生 120人	小林武文(パーカッション)、相川瞳(パーカッション)、 上原なな江(パーカッション)
9月6日(金)	五本木小学校	4年生 75人	向山佳絵子(チェロ)、広海滋子(ピアノ)
9月11日(水)	駒場小学校	6年生 74人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
9月20日(金)	第十一中学校	2年生 62人	愛もも胡(ソプラノ)、布施雅也(バリトン)、 矢野里奈(ピアノ)
9月24日(火)	宮前小学校	4年生 51人	南紫音(ヴァイオリン)、福田悠一郎(ヴァイオリン)、 大須賀恵里(ピアノ)
9月27日(金)	中目黒小学校	6年生 79人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
10月3日(木)	緑ヶ丘小学校	4～6年生 100人	高見信行(トランペット)、城綾乃(ピアノ)
10月11日(金)	菅刈小学校	4、5年生 90人	原田照久(トランペット)、片野和泉(トランペット)、 根本めぐみ(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、 山崎勇太(チューバ)
11月7日(木)	烏森小学校	5年生 64人	鵜木絵里(ソプラノ)、土崎譲(テノール)、 松本康子(ピアノ)
11月22日(金)	中根小学校	4年生 69人	原田照久(トランペット)、日置綾乃(トランペット)、 豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、 山崎勇太(チューバ)

月／日	施設名	参加者	出演者
11 月 28 日(木)	大島中学校	2 年生 145 人	高橋竹童(津軽三味線、胡弓、琉球三線、尺八)
12 月 13 日(金)	下目黒小学校	5、6 年生 120 人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
12 月 13 日(金)	原町小学校	5、6 年生 76 人	読売日本交響楽団メンバー 田中敏雄(トランペット)、尹千浩(トランペット)、 久永重明(ホルン)、栗田晃(トロンボーン)、 次田心平(チューバ)
1 月 23 日(木)	不動小学校	5 年生 85 人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、 二宮聡美(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、 山崎勇太(チューバ)
1 月 24 日(金)	第十中学校	2 年生 118 人	白石光隆(ピアノ)、森岡有裕子(フルート)
2 月 3 日(月)	鷹番小学校	6 年生 76 人	正戸里佳(ヴァイオリン)、大須賀恵里(ピアノ)
2 月 4 日(火)	東山小学校	6 年生 160 人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
2 月 6 日(木)	八雲小学校	5、6 年生 129 人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、 二宮聡美(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、 山崎勇太(チューバ)
2 月 17 日(月)	油面小学校	4 年生 83 人	鈴木広志(サクソフォン)、東涼太(サクソフォン)、 上運天淳市(サクソフォン)
2 月 25 日(火)	上目黒小学校	5、6 年生 43 人	藤井冨(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、 大野真由子(ピアノ)
2 月 25 日(火)	碑小学校	6 年生 110 人	横坂源(チェロ)、加藤洋之(ピアノ)
7 月 16 日(火)	みどりがおか こども園	3～5 歳児 90 人	島裕介(トランペット・フルート)、齋藤純一(ギター)、 小山豊(三味線)
7 月 18 日(木)	げっこうはら こども園	3～5 歳児 80 人	島裕介(トランペット・フルート)、齋藤純一(ギター)、 小山豊(三味線)
1 月 16 日(木)	ひがしやま 幼稚園	4、5 歳児 70 人	中丸達也(パーカッション)、宮本まいこ(パーカッショ ン)、宮野下シリユウ(マリンバ)
10 月 30 日(水)	目黒区立特別 養護老人 ホーム東山	50 人	目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、横田由美(ヴァイオリン)、 油谷伸一(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、 山本紀子(司会)

11 月 6 日(水)	目黒区立特別 養護老人 ホーム中目黒	50 人	目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、横田由美(ヴァイオリン)、 油谷伸一(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、 村上千香(司会)
11 月 20 日(水)	独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター	250 人	東京音楽大学学生メンバー 菅沼千尋(ソプラノ)、中島理加(ヴァイオリン)、 田中彩渚(ピアノ)
12 月 4 日(水)	目黒区立特別 養護老人 ホーム東が丘	60 人	目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、横田由美(ヴァイオリン)、 油谷伸一(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ) 村上千香(司会)
12 月 9 日(月)	目黒区心身 障害者センター あいアイ館	60 人	鵜木絵里(ソプラノ)、土崎譲(テノール)、 松本康子(ピアノ)

(合計 35 施設／3,072 人)

(小学校 22 校、中学校 5 校、幼稚園1園、こども園 2 園、特養等 5 ヶ所)

4 芸術文化情報の収集と発信

主催事業の周知や地域の芸術文化活動を活発化させるため、情報紙の発行やSNS等、様々な媒体を活用しながら、芸術文化関連情報の提供に努めた。昨年度、ホームページのデザインを刷新して、スマートフォンにも対応できるようにしたが、今年度も利用者にとってより分かりやすくなるよう一部改善した。

(1) 情報紙「アートレター」の発行

号数	発行日	発行部数	新聞折込(部数)
VOL.68 夏号	2019 年 7 月 7 日	80,000 部	74,000 部
VOL.69 秋号	2019 年 10 月 6 日	80,000 部	74,000 部
VOL.70 冬号	2020 年 1 月 5 日	80,000 部	74,000 部
VOL.71 春号	2020 年 3 月 22 日	80,000 部	74,000 部

アートレターの紙面は、現在8ページ、そしてカラーで発行している。内容も公演情報だけではなく、出演者へのインタビュー記事を掲載する等、公演の特色を分かりやすく紹介し、また SNS を効果的に活用することで、チケットの販売促進に繋げている。

(2) 広報一覧

広報媒体		目的・結果等
自社媒体	情報紙「アートレター」	出演者へのインタビューや「めぐろで第九 2020」公演で使用する体感音響システムの紹介を行うなど、読み物的なページの工夫に努めている。また、昨年度から増えている個人発送希望者に対し、引き続き、発送し、周知に努めた。
	ホームページ	昨年度、ホームページのリニューアルを図ったが、利用者にとってより分かりやすいホームページとなるよう一部改善した。
	SNS(ツイッター、フェイスブック)	SNSを活用し、定期的に事業の周知等に努めた。公演の雰囲気が伝わるような写真や動画をアップし、引き続き、拡散したくなるような素材について工夫していく。
	YouTube(動画)	出演者のインタビュー動画をアップし、チケット販促に努めた。
	メールマガジン	チケットサイトに登録している方に計 12 回、公演情報を周知した。
	区民キャンパスプラザでの展示・映像上映	宮城県気仙沼市で活動している「気仙沼つばき会」が発行している漁師カレンダーを東日本大震災復興支援コンサートの関連事業として展示し、またその活動紹介の映像を流し、より事業を知ってもらう機会を提供した。
他社媒体	区報、各区内施設	区報に情報を掲載し、且つチラシの配架やポスターの掲示に努めた。

他社媒体	他施設等	他のホールや図書館や出版社、お店等にチラシ等を配布し、幅広い方々に周知した。
	目黒区総合庁舎 西口ロビー	目黒区総合庁舎 1 階にて、昨年度の事業報告や今年度の事業について周知を図った。
	東急電鉄 (各駅モニター)	東急電鉄全線各駅のモニターに表示した。
	東急電鉄 (駅構内ポスター)	東急電鉄の各駅構内にB2版のポスターを掲示した。
	目黒区内の各駅 構内(16駅)	目黒区内の各駅構内に情報紙「アートレター」を配架した。
	雑誌広告	公演ジャンルに関係する雑誌や特集記事に関係した雑誌に事業の広告を掲載した。なお、広告の効果を高めるために、複数の事業をを同時に掲載した。
取材対応等	東急ケーブルテレビ	東急イツコムにて、公演情報や施設の案内が取り上げられ、周知を図ることができた。
	音楽雑誌	音楽雑誌「ショパン」において、ホールの紹介が取り上げられた。
	区からプレスリリース	事業終了後、区から各プレスに事業報告をリリースした。

5 その他

(1) めぐろパーシモン芸術文化ネットワークの取り組み

めぐろパーシモン芸術文化ネットワークは、当財団と共催して事業を行っている 5 団体(目黒区東山オーケストラ、目黒区民交響楽団、目黒吹奏楽団、童謡の里めぐろ保存会、目黒区クラシック音楽家協会)が、目黒区の芸術文化の振興を図ることを目的として、平成 23 年 10 月に発足した。

各団体と当財団との意見交換のほか、公演に際し、相互に協力しながら、めぐろパーシモンホールのロビー(ホワイエ)周りでの案内など支援を行い、集客力の強化にも寄与している。

(2) ホールの協賛等の運営

① 賛助会

ホールの賛助会については、昨年度の 24 社、個人会員 26 人、計 77 万 8 千円の収入に対し、今年度は 29 社、個人会員 21 人、計 86 万円の収入となり、前年度より 8 万 2 千円の増収となった。

② 協賛

企業も芸術文化の担い手であり、企業に参加の機会を提供することで、以下のとおり、各企業と協力関係を構築することができた。

事業名	協賛企業	協賛内容
桂文珍・春風亭小朝・柳家花緑	昭和製菓(株) 自由が丘 蜂の家	お菓子

第 8 回避難訓練コンサート	サクマ製菓(株)	飴
Ai Kuwabara the Project	サッポロホールディングス(株)	ドリンク

子どものためのワークショップ事業では、昨年度に引き続き、(公財)北野生涯教育振興会に協賛金(140 万円)を頂き、継続的な資金調達に努めた。

③情報紙「アートレター」における広告料収入

今年度は昨年度に比べて 35,000 円減の合計 987,000 円だった。昨年度と比較すると、若干減収したが、安定した収入を得られているため、今後も、読者に対して魅力ある情報紙「アートレター」の制作に取り組んでいくこととする。

(3) 地域と連携した事業

① 顧客サービス

地域の活性化やチケット販売促進を視野に入れながら、ホールと商店街が連携した顧客サービスを平成 21 年度より当初 15 店舗の協力で開始した。この制度は「パーシモンチケ得マップ」に記載されているお店に財団主催または共催事業のチケットを持参すれば、各店舗からサービスの特典が得られるものである。

今年度も昨年度に引き続きチラシをカラー印刷し、現在 28 店舗の協力を得ている。さらに、加盟店シールを制作し、加盟している店舗に貼り、周知を図っている。

なお、加盟店にはホールの広報に協力して頂いている。

② 広報ボランティア

一昨年度から開始した広報ボランティアを今年度再募集し、今年度は 21 名(昨年度は 23 名)が参加した。ホール事業を広報してくれる店舗への協力を依頼やチラシやポスターの配布、チラシの挟み込み、発送作業等を行う等、ホール職員の広報活動をサポートして頂いた。また、ボランティア同士の交流によって、地域との繋がりを図ることができた。

③ 商店街との連携

昨年、東京都産業労働局が主催する「第 14 回東京商店街グランプリ(商店街の優れた取組を表彰・紹介)」に、都立大学商店街連合会(とりつじん実行委員会)がグランプリを受賞した。また、今年も都立大学商店街連合会を構成する商店街が、第 15 回東京商店街グランプリで準グランプリを受賞したことから、グランプリ受賞におけるパネル展を開催し、商店街のPRに貢献した。

第2 受託事業

1 芸術文化事業(定款第4条第1項第2号)

(1)受託事業 (3事業=13公演 ※1ワークショップ中止、2公演中止)

*目黒区の委託を受け、各事業を実施した。

No.	内容		
1 ① ― ⑪	公演名	第 54 回 目黒区文化祭	
	公演日	平成 31 年 4 月 6 日（土）～ 令和元年 11 月 16 日（土）	
	会場	大ホール・小ホール・美術館ギャラリー	
	料金等	入場無料	
	概要	目黒区内の芸術文化活動の向上と地域社会の活性化を図るとともに、活動団体の連携・協力を深めるため、目黒区文化祭を実施し、各芸術文化団体の活動を支援した。なお、音楽祭・民謡大会は台風 19 号の影響のため、中止した。	

【内訳】

No.	公演日	公演名	施設名	来場者 (延べ人数)
①	4月6日(土)～7日(日)	華道展・呈茶席	美術館ギャラリー	300人
②	4月21日(日)	自主グループ(公演)	大ホール	552人
③	4月17日(水)～21日(日)	自主グループ(展示)	美術館区民ギャラリー	412人
④	5月21日(火)	邦楽演奏会	大ホール	110人
⑤	5月25日(土)	謡曲大会	小ホール	150人
⑥	5月26日(日)	民踊まつり	小ホール	142人
※	10月12日(土)	音楽祭	大ホール	※中止
※	10月13日(日)	民謡大会	区民センターホール	※中止
⑦	10月20日(日)	洋舞祭	大ホール	550人
⑧	10月27日(日)	日本舞踊大会	大ホール	630人
⑨	11月2日(土)	演劇祭	小ホール	150人
⑩	11月3日(日・祝)	吟剣詩舞道大会	小ホール	50人
⑪	11月16日(土)	合唱祭	大ホール	360人

No.	内容		
2 ①	公演名	めぐろオータムアート 2019 旧前田家本邸洋館サロンコンサート	
	公演日	令和元年 11 月 16 日（土）	
	会場	旧前田家本邸洋館	
	料金等	全席自由 500 円	
	入場者	80 人【完売】	
	概要	目黒区駒場にある国指定の重要文化財、旧前田家本邸洋館での、松田理奈（ヴァイオリン）、三又瑛子（ピアノ）によるコンサート。	
2 ②	公演名	めぐろオータムアート 2019 第 8 回音楽と美術のワークショップ コマ撮りアニメで創る私たちの愉快ないたずら	★中止
	公演日	令和元年 10 月 13 日（日）、14 日（祝） 台風 19 号の影響のため、以下の日程に延期した。 令和 2 年 3 月 28 日（土）、29 日（日）	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	料金等	参加費 2,000 円（小学 5 年生以上）	
	概要	目黒区美術館との共同企画ワークショップ。今回は、ドイツ民話を基に R. シュトラウスが作曲したオーケストラ曲「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」をテーマに、参加者自身の記憶に残る「いたずらエピソード」を集めて創るコマ撮りアニメーションを予定していた。 【講師】井上真洋（デザイナー、アニメーター、株式会社コビト）、Yuqi（U Q i Y O）、秋岡陽（音楽史、フェリス女学院大学学長）	
3	公演名	東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス開校記念 「室内楽&オーケストラ」コンサート	
	公演日	令和元年 12 月 8 日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 一般 1,000 円 学生 500 円	
	入場者	700 人	
	概要	東京音楽大学新キャンパスの目黒区内開校を記念した、室内楽とオーケストラのコンサート。 【出演】横山恵子（ソプラノ）、佐藤彦大（ピアノ）、水野信行（ホルン、指揮） 石崎真弥奈（指揮）、東京音楽大学シンフォニーオーケストラ（管弦楽）他	

(2) 指定管理事業（1事業＝1公演 ※1 事業中止）

No.	内容	
1	公演名	4 人のバリトンコンサート ハンサムなメロディー
	公演日	令和元年 9 月 22 日（日）
	会場	大ホール
	料金等	全席指定 一般 3,500 円（区民割 500 円引） 学生 1,000 円
	入場者	833 人
	概要	オペラアリア、ミュージカル音楽に日本歌曲まで、今を輝くバリトン 4 人衆が贈るコンサート。 【出演】宮本益光（バリトン）、加来徹（バリトン）、近藤圭（バリトン）、与那城敬（バリトン）、加藤昌則（作曲・編曲・ピアノ）、ハンサム弦楽四重奏《崎谷直人（ヴァイオリン）、桜田悟（ヴァイオリン）、高野香子（ヴィオラ）、門脇大樹（チェロ）》
2	公演等中止	令和 2 年 6 月 28 日（日）公演の「めぐろで第九 2020」における区民合唱練習（2 月 23 日、3 月 4 日、3 月 15 日、3 月 29 日）を予定していた。



★中止

2 施設貸与・管理事業（定款第4条第1項第3号及び第4条第2項）

（1）施設の保守管理等

職員による日常点検や始業終業点検に加え、専門業者による定期的な保守点検を実施し、安全を確保しながら、利用者に使いやすい施設・設備の提供を行った。また、保守管理業者からの報告は、随時、財団から目黒区に報告し、情報の共有を図った。

開館してから17年が経過し、機器類の劣化による部品交換等に関し、目黒区に適宜要望してきた結果、今年度は①舞台機構改修工事（大ホール）、②調光装置改修工事（大ホール）、③長年懸案だった遮光幕改修工事（大ホール）、④オペラカーテン取替工事（大ホール）⑤楽屋口駐車場防犯カメラ新設工事（大ホール）、⑥ピアノ庫及び搬入ロプラットホームの入口段差解消修繕工事（大ホール）を行った（工事期間は71日間）。

その他の不具合については、予算の範囲内で修繕し、利用者の安全・安心の確保に努めた。

なお、長年の懸案である小ホールホワイエ天井の雨漏りについては、昨年度修繕したが、再度漏水が生じたため、来年度に工事対応することを区と協議した。

今後、大ホール客席2階エレベーターの新設や、和式トイレから洋式トイレへの変更について、引き続き、目黒区に要望していくこととする。

①めぐろパーシモンホール

- | | |
|--------------|------------------|
| ア 舞台機構保守点検 | オ 客席椅子保守点検 |
| イ 舞台照明保守点検 | カ エレベーター・リフト保守点検 |
| ウ 開閉天井照明保守点検 | キ スタインウェイピアノ保守点検 |
| エ 舞台音響保守点検 | ク ヤマハピアノ保守点検 |

②中目黒G Tプラザホール

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| ア 音響保守点検 | イ 照明保守点検 | ウ ヤマハピアノ保守点検 |
|----------|----------|--------------|

（2）貸館サービス

①新規事項

- ア ピアノ（スタインウェイ）1台をオーバーホールし、利用者サービスの向上に努めた。
- イ ピアノの温湿度計を購入し、ピアノの保守管理を一層努めている。
- ウ 利用者用にCDプレーヤーや姿見、扇風機を購入し、利用者に快適に利用してもらうよう対応した。
- エ 利用者が施設の空き状況検索や予約をインターネットで行うことができる「集会施設予約システム」をリニューアルし、利用者サービスの向上に努めた。

②継続事項

- ア チケット販売の代行サービスを行っているが、今年度は23件の依頼があった（昨年度は25件）。
- イ 利用者等の要望について情報の共有化に努め、迅速な対応を図るため、舞台及び受付窓口の連絡会を定例化して、毎月開催した。
- ウ 顧客満足度による評価

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
総件数	153件	164件	175件
評価	3.95	4.05	4.00

※施設利用者に対して、「施設利用」の内容、スタッフの応対、施設及び設備の快適性等に

ついて、「良い」・「やや良い」・「普通」・「やや悪い」・「悪い」の5段階評価（5点満点）をしていただき、回答を集計している。

- エ 貸館の利用毎に利用者アンケートを実施する等して、利用者の意向を把握し、利用者の立場と目線による接遇を窓口サービスの基本に据え、利用者にはいつも親切・丁寧・明るい窓口対応を心掛けた。

（３）職場訪問等の受け入れ

①学校の受け入れ

区立中学校等の職場訪問や職場体験に協力した。内容としては、公演の準備・撤去の手伝いや受付窓口の事務作業が中心であるが、財団主催事業の開催日程に該当した中学校については、会場設営から本番、片付けの手伝いを体験してもらった。小学校はめぐろ区民キャンパス全体の施設見学を行った。

N o	期 間	学校名
1	6月25日（火）～ 6月27日（木）	区立東山中学校（3人）
2	10月24日（木）～ 10月25日（金）	都立桜修館中等教育学校（3人）
3	12月11日（水）	区立東根小学校（120人）
4	1月15日（水）～1月16日（木）	区立目黒中央中学校（2人）
5	1月28日（火）～1月30日（木）	区立第八中学校（3人）
6	2月5日（水）	私立トキワ松学園（10人）

②視察の受け入れ

他自治体の視察に積極的に協力した。

N o	期 間	団体名
1	5月22日（水）	石川県金沢市（2人）
2	6月18日（火）	北海道札幌市（2人）
3	9月10日（火）	宮城県気仙沼市（8人）

③インターンの受け入れ

N o	期 間	団体名
1	6月5日（水）～7月31日（水）【21日】	桜美林大学（1人）
2	9月19日（木）～1月18日（土）【28日】	桜美林大学（1人）

（４）収益事業

公益事業に資する収益事業として販売手数料及び自動販売機設置（13台）手数料での収入確保に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響によりホール利用が減少し、減収となった。

（５）危機管理体制

- ・コンサート中の災害に備えるため、第８回避難訓練コンサート（主催事業）を実施した。
- ・令和２年１月２０日に火災を想定した消火散水栓の訓練を目黒消防署指導のもと、行った。
- ・目黒区文化ホール危機管理マニュアルの見直しを行った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の予防に際して、手洗いうがいの励行、アルコール消毒液の設置等を行った。

補足資料

1 利用実績

施設名	年度	開館 日数	全体利用率			時間帯利用率			曜日別利用率	
			予約可 能件数 (件)	利用 件数 (件)	利用率 (%)	午前 (%)	午後 (%)	夜間 (%)	平日 (%)	土・日 祝日 (%)
大ホール	元年	358	679	544	80.1	86.5	88.2	67.1	73.0	89.9
	30	358	787	674	85.6	93.9	92.8	71.4	80.5	93.3
小ホール	元年	358	895	719	80.3	80.4	84.1	76.6	77.2	85.3
	30	358	900	736	81.8	81.6	86.9	76.9	76.1	91.2
中目黒 GT プラザ ホール	元年	334	934	843	90.3	81.9	90.6	98.1	88.8	92.9
	30	359	1,007	931	92.5	84.0	93.2	100.0	91.2	95.6

2 利用ジャンル別集計

ジャンル	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒 GT プラザホール		全施設合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
コンベンション	62	11.4	96	13.4	151	3.3	81	9.6	390	5.9
クラシック	137	25.2	290	40.3	1,517	33.6	213	25.3	2,157	32.6
ポピュラー	46	8.4	93	12.9	343	7.6	30	3.6	512	7.7
演 劇	17	3.1	34	4.7	147	3.3	7	0.8	205	3.1
ミュージカル	8	1.5	0	0	17	0.4	0	0	25	0.4
舞 踊	198	36.4	78	10.9	999	22.1	356	42.2	1,631	24.6
伝統芸能	41	7.5	26	3.6	154	3.4	11	1.3	232	3.5
映 像	2	0.4	6	0.8	7	0.2	0	0	15	0.2
その他	33	6.1	96	13.4	1,180	26.1	145	17.2	1,454	22
合 計	544	100	719	100	4,515	100	843	100	6,621	100
合 計 (30 年度)	674	100	736	100	4,726	100	931	100	7,067	100

3 利用者別集計

利用者	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒 GT プラザホール		合 計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
一般利用 区内	33	6.1	141	19.6	1,367	30.3	134	15.9	1,675	25.3
一般利用 区外	222	40.8	306	42.6	1,579	35.0	437	51.8	2,544	38.4
芸文登録 団体	46	8.5	103	14.3	845	18.7	157	18.6	1,151	17.3
公的団体	35	6.4	18	2.5	83	1.8	0	0	136	2.1
財団	144	26.4	104	14.5	438	9.7	20	2.4	706	10.7
目黒区	64	11.8	47	6.5	203	4.5	95	11.3	409	6.2
合 計	544	100	719	100	4,515	100	843	100	6,621	100
合 計 (30 年度)	674	100	736	100	4,726	100	931	100	7,067	100

4 利用者数

月	大ホール			小ホール			リハー サル室 等 諸室	中目黒 G T プラザホール			合計
	入場者	関係者	計	入場者	関係者	計		入場者	関係者	計	
4 月	15,429	2,559	0	4,838	954	5,792	1,731	5,116	874	5,990	31,501
5 月	12,127	2,444	14,571	3,450	914	4,364	1,804	3,942	849	4,791	25,530
6 月	19,401	2,231	21,632	3,932	1,515	5,447	2,019	3,654	939	4,593	33,691
7 月	12,223	1,837	14,060	3,823	815	4,638	2,358	6,046	817	6,863	27,919
8 月	17,986	3,009	20,992	4,762	935	5,697	1,569	3,811	726	4,537	32,798
9 月	12,052	2,851	14,903	3,101	1,203	4,304	2,301	3,509	645	4,154	25,662
10 月	14,303	3,621	17,924	3,390	917	4,307	2,138	3,677	1,528	5,205	29,574
11 月	11,464	3,830	15,294	4,125	1,426	5,551	1,781	3,658	1,355	5,013	27,639
12 月	16,515	3,248	19,763	4,448	954	5,402	1,723	3,058	978	4,036	30,924
1 月	※5,173	※525	※5,698	2,568	1,096	3,664	2,027	3,156	1,033	4,189	15,578
2 月	※0	※0	※0	3,566	941	4,507	2,353	2,545	871	3,416	10,276
3 月	※0	※0	※0	360	241	601	1,171	30	100	130	1,902
合計	136,673	26,155	162,828	42,363	11,911	38,066	22,975	42,202	10,715	52,917	292,994
30 年度	158,266	32,043	190,309	45,457	13,485	58,942	23,410	38,008	13,132	51,140	323,801

※ 大ホールは1月14日（火）～3月23日（月）まで工事期間。

5 利用料収納実績

(単位：円)

施設名	年度	施設利用料	特殊器具利用料	合 計
めぐろパーシ モンホール	元年	110,241,030	19,526,890	129,767,920
	30	107,274,270	23,202,890	130,477,160
中目黒G T プラザホール	元年	13,782,700	720,700	14,503,400
	30	14,589,800	882,550	15,472,350
合 計	元年	124,023,730	20,247,590	144,271,320
	30	121,078,570	24,075,990	145,154,560

※利用料は、各事業会計上、当該年度利用分と次年度利用分（いわゆる前受金）に分けて計上することとされているが、この表では、目黒区に倣い、利用料を収納した日の属する年度に区分して計上した。従って、正味財産増減計算書の施設利用料収益とは一致しない。

6 還付金実績

(単位：円)

区分	施設利用料	特殊器具利用料	合計	30 年度合計 【前年度実績】
元年度納付分に対する還付金	26,021,618	0	26,021,618	【30 年度】 9,498,328
30 年度納付分に対する還付金	2,817,150	0	2,817,150	【29 年度】 5,356,449
合 計	28,838,768	0	28,838,768	14,854,777

7 施設見学会開催実績

開催月		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
見学回数	大ホール	2	2	2	2	1	2	2
	小ホール	2	2	2	2	2	2	2
参加人数		19	41	60	13	18	32	17

開催月		11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	30 年度 合計
見学回数	大ホール	2	1	1	0	0	17	19
	小ホール	2	2	2	2	2	24	24
参加人数		11	9	13	13	3	249	258

8 個別見学対応実績

開催月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	30 年度 合計
見学 回数	8	13	12	12	13	15	15	9	4	8	8	9	126	157

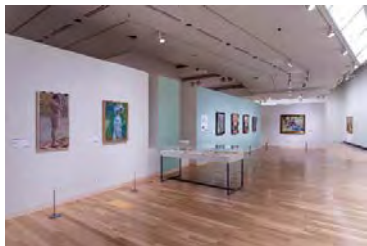
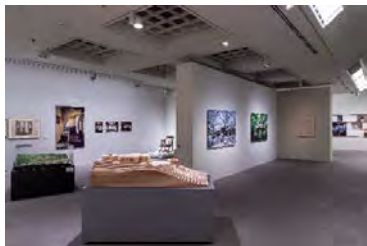
令和元年度 目黒区美術館事業報告

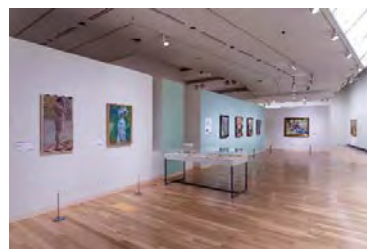
★印は新型コロナウイルス感染拡大に対する活動の自粛に伴う中止又は延期した事業

第 1 自主事業(定款第4条第 1 項第1号)

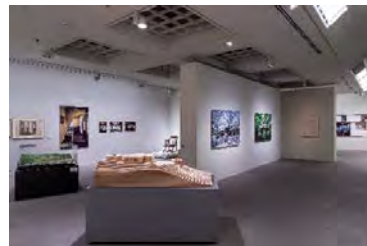
1 展覧会事業(自主企画展)

(1)	展覧会名	世紀末ウィーンのグラフィック ーデザインそして生活の刷新にむけて	 展示風景(展示室 A)
	会 期	4 月 13 日(土)～6 月 9 日(日)(50 日間)	
	観覧料	一般 800(600)円、大高生・65 歳以上 600(500)円、 中学生以下無料、()内は 20 名以上の団体料金、障がいのある方 とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体 料金(他との併用不可)	
	入館者数	13,348 人	 展示風景(展示室 B)
	展示概要	19 世紀末のウィーンで、グスタフ・クリムトを会長として設立されたウィ ーン分離派。その活動や思想、作品は、機関誌『ヴェル・サクルム(聖なる 春)』のような雑誌や、書籍、ポスターなどのグラフィックにより、広く 人々に伝えられた。本展では、京都国立近代美術館のコレクションより、 美しいだけでなく、見る者に強い訴求力をもつ、19 世紀末ウィーンのグ ラフィック作品と、同時代の貴重な家具など、約 300 件を取り上げた。同 館とは、平成 21 年に「上野伊三郎+リチ コレクション展」においても協 働し、相互の研究成果を共有してきた。世紀末における世界都市ウィ ーンの息吹と魅力を伝えた。	
関連催事	① 講演会 「世紀末ウィーンとグラフィックー総合芸術に見る民主化の試み」 講師:池田祐子(京都国立近代美術館学芸課長/本展企画者) 開催日:4 月 20 日(土) 参加者:79 人 内容: 世紀末ウィーンの世界状況など、分離派の登場する時代背 景とともに、展示品などを例にとり、芸術の民主化の流れについて 講義頂いた。会場からは熱心な質問が出て好評であった。	 ① 講演会風景	
	② 講演会「世紀末ウィーンの世界と文化」 講師:山之内克子(神戸市外国語大学教授[オーストリア、ウィ ーン文化史]) 開催日:5 月 12 日(日) 参加者:104 人 内容: オーストリア、ウィーンの世界をたどりながら、19 世紀末へ 至るウィーンの世界と文化について、画像を多数用いながらお話し 頂いた。定員を超える参加者があり、好評であった。	 ② 講演会風景	
	③ 大人ののための美術カフェ 「様式のない時代は可能 ー世紀末ウィーンの世界から考える」 開催日:5 月 26 日(日) 参加者:69 人 講師:本橋仁(京都国立近代美術館特定研究員) 内容: 世紀末ウィーンの世界な建築について画像をもとに紹介しな がら、近代国家樹立時期の建築のあり方をめぐる議論と実践が存 在したことを講義頂いた。熱心な受講者が目立ち、好評であった。	 ③ 美術カフェ風景	

	広報実績	・「春の話題展&アートイベント×114・展覧会情報」 月刊美術（2019年4月号） ・「美術展&美術館 2019 最新版」 ぴあ MOOK （2019年4月30日号） ・「セレクト 10 今月の展覧会&コンパニオン」 月刊ブレーン（2019年6月1日号）	
(2)	展覧会名	太田喜二郎と藤井厚二 日本の光を追い求めた画家と建築家	
	会 期	7月13日(土)～9月8日(日)(50日間)	
	観覧料	一般 1000(800)円、大高生・65歳以上 800(600)円、 中学生以下無料、()内は 20 名以上の団体料金、障がいのある方 とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体 料金(他との併用不可)	
	入館者数	6,970 人	
	展示概要	ベルギーに留学し同国の印象派を学んだ洋画家の太田喜二郎は、 目黒区美術館の館蔵作家。一方、自邸「聴竹居」で近年注目を集めて いる建築家の藤井厚二は、太田のアトリエ設計者であった。異なる分野 で活躍した二人の交流を軸に、西洋と日本の文化の融合及び自然の 中で移ろう光の追求を取り上げた。二つの分野をクロスする新しい視点 の展覧会として注目を集めたのと同時に、これまであまり名前の知られ ていなかった太田の作品への関心が高まった。	
関連催事	①	講演会「太田喜二郎と藤井厚二」 開催日:7月13日(土) 参加者:44 人 講師:植田彩芳子(京都文化博物館 学芸員) 内容:画家・太田喜二郎と建築家・藤井厚二を主役とした本展の開 催経緯に絡めて、それぞれの主要な作品と業績、そして二人の交 友について語って頂いた。会場からは質問も出て好評であった。	 展示風景(展示室 A)
	②	講演会「新しい芸術と藤井厚二の建築」 開催日:7月14日(日) 参加者:94 人 講師:藤森照信(東京都江戸東京博物館館長) 内容:藤井厚二のみならず、太田喜二郎の作品にも言及し、美術 史と建築史の観点から、そして時にユーモアを交えて語られる講演 に、聴衆は魅了されていた。	 展示風景(展示室 B)
	③	藤井厚二建築ガイドツアー「聴竹居」+「八木邸」 開催日:7月20日(土) 参加者:20 人 ナビゲーター:松隈章(竹中工務店、聴竹居倶楽部代表理事) 降旗千賀子(フリーランスキュレーター) 内容:藤井厚二が設計した京都の自邸「聴竹居」と大阪府の「八 木邸」の見学ツアー。関西まで足を延ばし、写真や模型ではない実 物の藤井建築を体感できるまたとない機会となった。	 ① 講演会風景
	④	対談「建築家・藤井厚二を語る」 開催日:8月24日(土) 参加者:136 人 パネリスト:谷藤史彦(ふくやま美術館 前副館長) ×松隈章(竹中工務店、聴竹居倶楽部代表理事) 内容:長年藤井厚二の建築の研究を続けてきた二人の講師による トークとディスカッション。多くの聴衆を集め、藤井の建築への関心 の高さが伺えた。	 ③ 建築ガイドツアー風景
			 ④ 対談風景



展示風景(展示室 A)



展示風景(展示室 B)



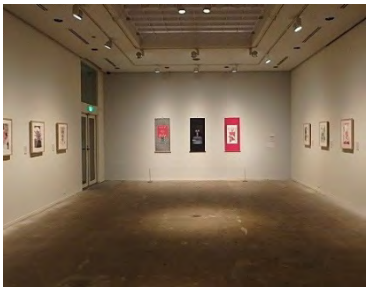
① 講演会風景



③ 建築ガイドツアー風景



④ 対談風景

		⑤ 大人のための美術カフェ1 「太田喜二郎とベルギー」 開催日:9月1日(日) 参加者:45人 ナビゲーター:山田真規子(当館学芸員) 内容:館蔵作家である太田喜二郎の留学時代の制作と、留学先のベルギーの美術も併せて解説。これまであまり知られる事のなかった太田及びベルギー近代美術に聴衆は聴き入っていた。	
		⑥ 大人のための美術カフェ2 「太田喜二郎邸の謎」 開催日:9月7日(土) 参加者:67人/8日(日) 参加者:27人 ナビゲーター: :7日(土) 河村容治(元東京都市大学教授、本展太田喜二郎邸CG復元映像制作者) :8日(日) 山田真規子(当館学芸員) 内容:7日は、本展の会場で上映した太田喜二郎邸のCGを制作したナビゲーターが、図面では見えてこない、制作過程で発見した太田邸の特徴を紹介。8日は、7日収録のビデオ上映とミニトークを実施した。	
	広報実績	・「日曜美術館 アートシーン」NHK Eテレ(2019年8月4日放送) ・大西若人「日本的風景 点で描いたのは『田植』」朝日新聞 夕刊 (2019年8月20日) ・芥川喜好「時の余白に『夏の光が考えさせたこと』」読売新聞 (2019年8月24日)	
(3)	展覧会名	線の迷宮〈ラビリンス〉Ⅲ 齋藤芽生とフローラの神殿	
	会 期	10月12日(土)～12月1日(日)(44日間) (10月12日は台風19号による臨時休館のため43日間の実施)	
	観覧料	一般 800(600)円、大高生・65歳以上 600(500)円、中学生以下無料、()内は20名以上の団体料金、障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)	
	入館者数	5,263人	
	展示概要	線の魅力と可能性に迫る企画「線の迷宮〈ラビリンス〉」シリーズの第3弾。今回は、独自の視点で現在と過去のはざまを描き出す齋藤芽生の作品約100点と、19世紀植物図鑑の至宝《フローラの神殿》全30点を同時に展覧し、「図鑑」のように複数の絵画と言葉で社会を描く現代作家の魅力に迫った。第1章「花の迷宮」では、作家が花をモチーフに描いた《毒花図鑑》等を《フローラの神殿》とともに展示した。第2章「窓の光景」では、作家が幼少期を過ごした団地の記憶とその後の再訪の経験をもとに描いた《晒野団地四畳半詣》等を紹介し、第3章「旅をする魂」では、旅に取材した作家の近作《密愛村Ⅲ・Ⅳ》等を展覧。長時間鑑賞する来館者が多く、絵とともに、会場に提示された言葉や文章に見入り、作家の世界に浸っているようだった。	
	関連催事	① 対談 山下裕二×齋藤芽生 話し手:山下裕二(明治学院大学教授) 齋藤芽生(本展出品作家) 開催日:10月19日(土) 参加者:68人 内容:山下氏がはじめて作家の作品を見た話や、その制作背景に	
			
			

⑤ 美術カフェ1風景

⑥ 美術カフェ2 風景

展示風景(展示室C)

展示風景(展示室A)

展示風景(ワークショップ室)

	ある幼少期から大学時代までの話等について、興味深い話を聞くことができた。参加者は熱心に聞き入り、また質問も多く出る等、充実した内容だった。	
	② ミュージアムコンサート 出演:mama! Milk (生駒祐子／アコーディオン・清水恒輔／コントラバス) 開催日:11月3日(日・祝) 参加者: 61人 内容: パーシモンホールとの共同イベント。ワルツやタンゴ、クラシックや現代音楽等を融合させる人気デュオが、作家の作品にインスピレーションを得て、オリジナル曲を編曲し演奏した。2 つだけの楽器から奏でられたとは思えない豊かな音色に、観客は圧倒された様子だった。	① 対談風景
	③ 作家によるギャラリートーク 開催日:①11月23日(土・祝) ②11月30日(土) ③12月1日(日) 参加者:①30人 ②33人 ③40人 話し手:齋藤芽生(本展出品作家) 内容:展示室を回りながら、作家が自作について解説を行った。普段はなかなか聞く事のできない制作秘話に、参加者は驚いていたようだった。	
	④ 大人のための美術カフェ 開催日:11月24日(日) 参加者: 44人 担当:加藤絵美(担当学芸員)、齋藤芽生(本展出品作家) 内容:《フローラの神殿》に使われている銅版画の技法について、スライドをみながら説明した。飛び入りで参加していただいた作家の使用素材や技法の話をつけた。後半は展示室へ移動し、ギャラリートークを行った。	② ミュージアムコンサート風景
広報実績	・ 渋谷和彦「鮮やかな色彩に潜む毒『齋藤芽生とフローラの神殿』」産経新聞 (2019年10月27日朝刊) ・ 大西若人「黒白と極彩色 細密かつ濃厚に」朝日新聞 (2019年11月5日夕刊) ・ 永田晶子「齋藤芽生 過去から紡ぐ世界」毎日新聞 (2019年11月14日号) ・ 「山下裕二のこれが欲しい! No.129 齋藤芽生「晒野団地四畳半詣『姥捨小町鉄の浮橋』」月刊アートコレクターズ 2019年12月号	

2 ワークショップ事業

(1) ワークショップ夏【自然のモチーフで遊ぶ】

「太田喜二郎と藤井厚二 一日本の光を追い求めた画家と建築家」にちなみ、建築や光に関連する内容で開催した。子どものコースでは影絵や薄い紙を使って光で遊び、大人と子どものプログラムでは色鉛筆を使って混色の仕組みを探り、大人のプログラムでは、都内に現存する画家のアトリエを訪ねた。

①	講座名	ワークショップ1/子ども対象 ゆれる ゆらぐ 光と遊ぶ	 1日目: ビニール傘に半紙を貼って、和傘を制作した
	実施日時	7月20日(土)、21日(日) 10:30~16:30 ※2日間コース	
	ナビゲーター	メグロアソビ冒険隊(中村良子・山本桃子・澤村幸子)	
	対象・定員	小学1年生以上中学生まで 25名(抽選)	
	参加者数	25人[申込者数31人]	

	内容	ダイナミックに取り組む子どものためのコースの 1 日目では、書道用の半紙を、ボンド水でビニール傘に貼り、オリジナルの和傘を制作。随時展覧会を観覧しながら、光に対しての興味を喚起する。2 日目には、乾いた半紙を傘から剥がし、張り子状になった紙をつなげて天井から吊るし、装飾を加えながら、大きな生きものを作り上げた。最後に部屋を暗くして、この張り子に赤・青・黄・緑の光を当て幻想的な空間の中で遊んだ。参加した子どもたちは、全身を使って光で遊ぶ楽しさを実感した。	
②	講座名	ワークショップ 2/子ども、大人対象 色は光 ―5 色の色鉛筆で光を描く	 1 日目： 白いモチーフを持ち寄り、影の色とは暗いものでないことを意識して描く
	実施日時	7 月 27 日(土)、28 日(日) 10:30～16:30 ※2 日間コース	
	講師	徳永雅之(画家)	
	対象・定員	小学 4 年生以上中学生まで 10 名、高校生以上 10 名(抽選)	
	参加者数	18 人[申込者数 22 人]	
	内容	10 代から 60 代まで、幅広い年齢層が参加した。プログラムでは、発色の良い、赤・黄・水色・紫・ピンクの 5 色の色鉛筆だけを用い、これらを塗り重ねることで色幅を広げることを意識してもらった。1 日目は、まず 2 色 3 色と重ねて混色を試すカラーチャートを作った後、光に対して抱くイメージを絵にした。制作の途中、展示室で太田喜二郎作品を、講師と参加者がともに観賞する機会を設け、影の色が暗くないことに注目した。2 日目は、参加者には白いモチーフを持ち寄ってもらった。白いストール、傘、ぬいぐるみ、花など、集まった様々なものを台上に組み合わせ、好きな場所から描いていく。1 枚をじっくり描く参加者もいれば、次々と複数枚を描く参加者もあり、最初は混色に戸惑う参加者もいたが、最後はヴァリエーションに富んだ作品が出来上がった。	
③	講座名	ワークショップ 3/大人対象 画家と建築・アトリエ探訪 ―新宿編	 参加風景
	実施日時	8 月 3 日(土)13:00-16:30	
	ナビゲーター	降旗千賀子(フリーランスキュレーター)	
	対象・定員	高校生以上 20 名(先着順)	
	参加者数	21 人[申込者数 27 人]	
	内容	開催中の「太田喜二郎と藤井厚二」展では太田喜二郎のアトリエを取り上げた。これに関連し、都内・新宿区落合に現存する、20 世紀初頭に活躍した画家のアトリエを訪ねた。講師の降旗氏とともに、洋画家・中村彝と佐伯祐三、そして文筆家の林芙美子の夫で画家の手塚緑敏、全 3 箇所のアトリエを回った。画家が作品を生み出した場所で、参加者は思いを巡らせていたようだった。	
④	講座名	ワークショップ 4/ファミリー対象 トイでつくる光と影の街	
	実施日時	8 月 10 日(土)、11 日(日) 13:00～16:00 ※2 日間コース	

	講師	目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム)	 1 日目:トイの影を見て想像を膨らませる
	対象・定員	4 歳以上の 2 名 1 組の家族 12 組 (申込み順) (未就学児が参加の場合は、大人同伴)	
	参加者数	15 組 30 人[申込 21 組]	
	内容	毎夏恒例、トイコレクションボランティアチーム(TVT)が手掛ける、親子向けのプログラム。申込から数日で定員を満たし、本プログラムの人気の高さをうかがわせた。 今回は光と影をテーマとし、1 日目は、大きな障子紙をスクリーン代わりに吊るし、影絵遊びを行った。その後、水を入れた透明なボウルにカラフルなインクを垂らし、インク水のスライドを作るなど、光を用いた様々な方法で遊んだ。2 日目は、当館が所蔵するトイ(おもに木製の積木)で住んでみたい家を家族毎に作り、さらにつなげて大きな街に広げた。その後、部屋を暗くし、光源を搭載した電車の模型をトイの街に走らせ、浮かび上がる家の形を見る。参加した親子は、トイと光と影の効果を、夢の中の景色を見るかのように楽しんでいた。	
			 2 日目:トイで作上げた街に光の電車を走らせる

(2) ワークショップ春【からだを動かす・見つめる】

開催中の「目黒区美術館コレクション展 越境者たち Beyond the Borders」展の会期中、「からだ」をテーマに美術との関係をさぐるプログラム。

①	講座名	こどものためのワークショップ 動くからだハンコと美術館のひみつ ★中止
	実施日時	2 月 29 日(土)、3 月 1 日(日) 10:30~16:30 ※2 日間コース
	ナビゲーター	メグロアソビ冒険隊(中村良子・山本桃子・澤村幸子ほか)
	対象・定員	新小学 1 年生から 6 年生まで各日 25 名 [申込者数 34 名 (2 月 14 日締切時)]
	内容	開催中の展覧会「越境者たち」に出品されている星野真吾の人拓の作品に注目し、絵具を自分のからだに塗って、からだハンコに挑戦する。2 日間、からだを目一杯使って遊ぶ、ダイナミックなワークショップを予定していた。
②	講座名	おとなのためのワークショップ 踊りってなに? からだを見つめなおす ★中止
	実施日時	3 月 20 日(金・祝)14:00~16:00 【鑑賞篇】 3 月 21 日(土) 10:30~16:30 【実践篇】 ※2 日間コース
	講師	工藤丈輝(舞踏家)
	対象・定員	中学生以上 20 名 [申込者数 10 名 (2 月 14 日締切時)]

	内容	電子機器や乗り物などの道具に依存し、自身のからだを動かしたり向きあったりする機会のほとんどない現代の我々。1日目は、開催中の「越境者たち」展の展示会場の作品の前で、舞踏家の工藤丈輝氏の舞踏を鑑賞する。2日目は基本的な体操からはじまり、からだを使って行う表現などを体験するワークショップを予定していた。
--	----	--

3 教育普及事業

(1) ギャラリーツアー

学校との連携事業として、小学校の学年単位での鑑賞教室を受け入れた。

No.	展覧会名等	学校名	開催日	学年	参加者
1	世紀末ウィーンのグラフィック	五本木小学校	5月31日(金)	4年生	76人

(2) アウトリーチ

目黒区美術館にとどまらず、館外での美術館周知と教育を兼ねた活動。当館の教材トイコレクションをもとに、独自のプログラムで児童館の子ども達とのコミュニケーションを図るなどした。

①	講座名	雲の上に虹をかけよう	 実施風景
	進行	目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム) 協力:目黒区民センター児童館	
	実施日時	5月25日(土) 13:30~15:00	
	実施場所	目黒区民センター児童館 B1階 幼児遊戯室	
	対象・定員	目黒区民センター児童館に来館する子どもと親	
	参加者	71人(大人32人/小学生11人/未就学児童28人)	
	内容	区民センター児童館で毎年実施する春のプログラム。児童館に出張し、コレクションであるトイを使用して遊ぶことを基本とする。プログラムの立案をはじめ、目黒区美術館のトイコレクションボランティアチームが主体となって実施。今回は、雲形の木の板「パノラマ」に色鮮やかな積木を並べて遊んだ後、円柱と円柱型の穴の開いた正方形の積木「リグノ」をつなげて組み上げ、虹に見立てたアーチ型を作った。リピーターも多い本プログラムは、地域に根付き、定着している。また、児童館と美術館が連携し、双方の新規利用者を開拓する機能も担っている。	
②	講座名	窓からのぞく積み木の世界	 実施風景
	進行	目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム) 協力:目黒区民センター児童館	
	実施日時	11月16日(土) 13:30~15:00	
	実施場所	目黒区民センター児童館 B1階 幼児遊戯室	
	対象・定員	目黒区民センター児童館に来館する子どもと親	

	参加者	49 人(大人 24 人／小学生 5 人／未就学児童 20 人)	
	内容	区民センター児童館で実施を重ねている積木で遊ぶ冬のプログラム。プログラムの立案をはじめ、目黒区美術館の TVT(トイコレクションボランティアチーム)が主体となって実施した。前半は、参加者が床に電車のレールと、パノラマという白木の板で家の敷地を設置した。さらに、この敷地にカラフルなトイを沢山並べて家を作ると、次第に街並みが出て現。最後は、TVT特製の小さなぞき窓を配布し、参加者は、お気に入りの場所の風景を切り取って楽しんだ。 アウトリーチのリピーターが増え、子どもとともに参加した大人も手を動かして主体的に参加するようになってきた。プログラムの精度の高さから、思いがけず大人に対する効果も現れているようである。	

(3) トイの日

目黒区美術館が所蔵する積木のコレクションを基本に、美しく造形的な積木での感性教育、造形遊びを養うために長年にわたり実施。目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム) が、当館の教材トイコレクションでの遊びをサポートした。

	講座名	トイの日	
	進行	目黒区美術館トイコレクションボランティアチーム(TVT)	
	開催日	2 月 16 日(日)13:00～16:00	
		2 月 22 日(土)13:00～16:00 ★中止	
	実施場所	目黒区美術館 ワークショップ室	
	参加者数	2 月 16 日 延べ 56 人	
	内容	毎年開催している「トイの日」は、当館の教材トイコレクションを活用した人気のプログラムである。 熟練した TVT(トイコレクションボランティアチーム)によって、会場構成がなされ、乳幼児から大人まで、それぞれのペースで自由に楽しむことのできる内容となっている。およそ 200 種類に及ぶ積木やパズルを厳選して、「まちづくり」「パズル」「木のどうぶつ」などのテーマ毎に配置し、多彩なトイに関する知識を持つTVTが適宜担当箇所につきながら、参加者の好奇心を刺激する働きかけを行った。参加者は、実際に身体を動かし、また TVT や参加者との交流を楽しみながら、トイの可能性を広げていった。	

実施風景

(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

建築家村野藤吾が昭和 41(1966)年に設計した旧千代田生命本社である目黒区総合庁舎のデザイン的な見どころを解説して歩く毎年人気のプログラム。

①
④

講座名	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		
進行	目黒区美術館 建築ボランティア		
内容	【通常コース】【和室集中コース】は、建築ボランティアの個性を活かした、多様な切り口で毎年人気が高い。開設 3 年目となる【楽しく見るコース】【英語コース】も好評で、各コースとも積極的なやりとりがみられた。		
実施日 (各日 14:00 ~16:00)	① 4 月 19 日(金)	68 人	
	② 5 月 11 日(土)	90 人	
	③ 5 月 19 日(日)	80 人	
	④ 5 月 31 日(金)	76 人	
対象・定員	中学生以上、各回 70 名 (申込み順)		
料金等	参加費:500 円		
参加人数	延べ 314 人		

通常コース ツアー風景

通常コース ツアー風景

(5) 館長美術講座

インドに留学し、仏教遺跡の实地調査を多数行ってきた秋山館長が、自ら撮影した数々の貴重な画像とともに、仏教関連遺跡や美術について、解りやすく語るプログラム。

① ③	講座名	目黒区美術館館長トークⅣ インドの仏教美術 ★中止	
	講師	秋山光文(当館館長)	
	内容	館長による美術講座の第四弾。今回はブッダの前世について説いた「本生譚(ジャータカ)」の中から、特に好まれた主題を三つ取り上げ、インドから伝播した仏教文化の広がりとともに、アジア諸地域の作例も検証する内容を予定していた。	
	開催日	① 2 月 23 日(日・祝) 14:00~15:30	「大猿本生」
		② 2 月 24 日(月・休) 14:00~15:15	「ルル鹿本生」
		③ 2 月 24 日(月・休) 15:30~16:45	「六牙象本生」
	対象・定員	高校生以上各回 50 名 [申込者数①63 名/②80 名/③81 名 (2 月 21 日中止決定時)]	

(6) デザインキャンプ

今年で9回目となるハーマンミラージャパン株式会社との共同企画は、近年人気のプログラムとして定着してきた。

① ②	講座名	イームズの《Powers of Ten》 × 日本の《庭園》 ★中止
	開催日	①3月7日(土)10:30～17:00 ②3月8日(日)10:30～17:30
	実施場所	①ハーマンミラーストア、ハーマンミラーショールーム ②国際文化会館
	講師	重森千青(作庭家、重森庭園設計研究室主宰)
	コーディネーター	降旗千賀子(フリーランスキュレーター)
	対象・定員	各日とも高校生以上20名 [申込者数82名(3月22日締切時)])
	内容	今回は、作庭家の重森千青氏を講師に迎え、チャールズ&レイ・イームズのフィルムと日本の「庭」を結びつけるを試みる内容を予定していた。取り上げるフィルムは、宇宙・人・素粒子をつなぐ壮大な大きさと時間をわずか9秒で旅する映像、イームズの代表作《Powers of Ten》。日本の庭園は、矩形の空間に、石や砂、水など、自然の素材で様々な風景を凝縮させた宇宙でもある。双方に見られる共通点から、「デザイン」と「庭」の双方を視ることを試みようとした。

4 その他美術に関する事業

(1) 博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、平成8年度を初年度としてこれを受け入れている。実習期間、実習内容については、担当学芸員と面接により決定する。令和元年度は14人の学生を受け入れた。

【元年度受入実施校】

東京造形大学4人、お茶の水女子大学2人、青山学院大学、多摩美術大学、東京情報大学、東京農業大学、日本女子大学、法政大学、和光大学、和洋女子大学 各1人

(2) 広告事業等(件数等広報一覧詳細については後掲「補足資料4」参照。)

① 広報事業

- (1) 当館ホームページを随時更新
- (2) フェイスブック、ツイッター、Instagram、メルマガ会員情報配信
- (3) めぐろ区報、目黒区ホームページ
- (4) プレスリリース、ポスター・チラシの発送
- (5) 新聞掲載
- (6) JR 目黒駅広告看板掲出(ポスター)
- (7) JR 目黒駅周辺案内図「ナビタ」掲出
- (8) 都営バス天吊り広告
- (9) 目黒区総合庁舎西口ロビー展示(7/1～7/10)
- (10) 近隣商店会(7商店会)へのチラシ配布協力依頼
- (11) ミューぼん(スマートフォンアプリ)利用(69名)※30年度は111名
- (12) スペシャル Wi-Fi コンテンツ「目黒区美術館ってこんなところ！」を利用して、コレクション展会期中に目黒区美術館開館以来はじめての音声ガイドを制作・公開した。

② 共通入館券「ぐるっとパス」事業

令和元年度も30年度同様、都内の美術館・博物館等の普及活動や新たな需要の開拓等を目的とした「東京の美術館・博物館共通入館券実行委員会・ぐるっとパス」に参加した。実行委員会が、参加館の負担金、事業収入等により共通入館券の発行、ポスター・パンフレットの作成その他広報を行い、共通入館券の販売及び入館料の収入、並びに負担金額は年度末に精算される。

【実施実績】

年度	参加館	共通入館券売上冊数	共通入館券による入館者数
元年度	95館	273冊 (39,429冊)	6,087人 (291,803人)
30年度	92館	295冊 (37,653冊)	5,136人 (300,140人)

* 上段は目黒区美術館、()内は全体数[参加館、「ぐるっとパス」事務局取扱、委託販売の合計]

③ 目黒区総合庁舎西口ホール 目黒区美術館広報展示

目黒区民を主な対象とし、当館の立地や収蔵品などの概要、また展覧会事業や教育普及などの活動をパネル仕立てで展示する広報活動を、例年に引き続き行った。(令和元年7月1日(月)～10日(水))



④ 報告書作成

・展覧会やワークショップについての報告を、ミュージアムシートとして発行した。

No.24 「【太田喜二郎と藤井厚二-日本の光を追い求めた画家と建築家】展を終えて
太田喜二郎篇」 令和元(2019)年11月20日発行

No.25 「【太田喜二郎と藤井厚二-日本の光を追い求めた画家と建築家】展を終えて
藤井厚二編」 令和元(2019)年11月20日発行

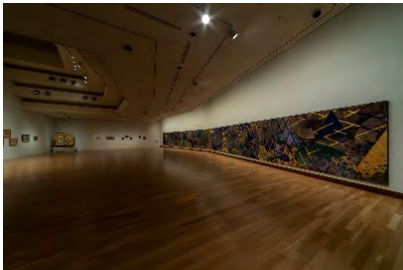
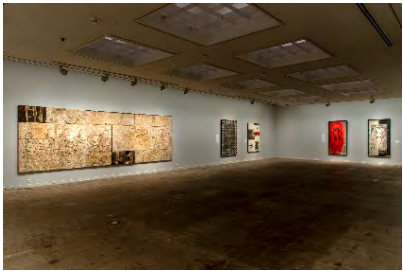
No.26 「特集展示 鈴木省三の絵画」 令和2(2020)年1月30日発行

No.27 「線の迷宮ラビリンスⅢ-齋藤芽生とフローラの神殿」 令和2(2020)年3月20日発行

第2 受託事業(定款第4条第1項第2号)

1 指定管理事業展覧会

(1)	展覧会名	めぐろの子どもたち展	 展示風景(ワークショップ)
	会 期	令和2年1月18日(土)～2月2日(日)(14日間)	
	観覧料	無料	
	入館者数	10,847人	
	展示概要	目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示する展覧会。本展は教職員によって主導され、子どもたちの鑑賞教育の場として、また保護者や地域の人々が、教育現場における子どもたちの活動を理解する場として長きにわたりその役割を果たしている。今年度は、「米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展」を同時開催した。 作品数:4,088点	

(2)	展覧会名	目黒区美術館コレクション展 越境者たち Beyond the Borders		 展示風景(展示室A) 撮影: 後藤充
	会 期	令和2年2月15日(土)～3月22日(日)(32日間)		
	観覧料	一般 700(550)円、大高生・65歳以上 550(400)円、 中学生以下無料、()内は 20名以上の団体料金、障がいのある方 とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体 料金(他との併用不可)		
	入館者数	2,007人		
	展示概要	当館コレクションの中から、絵画の分野や材質技法にまつわる様々な境界を越えて新たな芸術表現を目指した画家たちの作品を紹介した。 第1章では「諏訪直樹 vs 川村清雄」と題し、額縁を超越して無限に展開する空間表現を目指した諏訪直樹と、明治初期より西洋渡来の新技法である油彩に挑み、日本の近代絵画の新たな地平を拓いた川村清雄の作品を対峙させた。第2章では「パンリアルの挑戦」と題し、戦後に、抽象などの先鋭的な表現を日本画の技法により実現する「膠彩表現」で日本画を革新した「パンリアル美術協会」の画家たち(星野眞吾、三上誠、下村良之介、不動茂弥、野村耕、木村嘉子)の作品を展示した。併せて、2018年度の新収蔵品を中心とした「山下新太郎のファミリーポートレート」を同時開催した。		
関連催事	①	舞踏パフォーマンス「肉体と平面」 ★中止 開催予定日:3月20日(金・祝) 参加定員:なし 講師:工藤丈輝(舞踏家)	 展示風景(展示室B) 撮影: 後藤充	
	②	大人のための美術カフェ「越境し、連鎖する絵画たち」 ★中止 開催予定日:3月14日(土) 参加定員:先着50人 内容:担当学芸員による本展出品作品・作家をめぐるトーク。		 展示風景(展示室C) 撮影: 後藤充

2 作品の保管・活用

(1) 寄贈・寄託作品 = 0 件

(2) 作品貸出

作品貸出 件数 点数 = 合計 14 件 14 点

① 4 件 4 点

藤田嗣治「カフェ・ラ・ロトンド」

藤田嗣治「猫のいる自画像」

藤田嗣治「自画像」

藤田嗣治「自画像」

展覧会名：絵を見ると、あなたは何を見ているの？展

貸出先：栃木県立美術館

会期：令和元（2019）年 6 月 29 日～8 月 25 日

貸出：令和元（2019）年 6 月 20 日～8 月 29 日

★その他、書籍『モンパルナスの芸術家たち（Les Montparnos）』（ミシェル・ジョルジュ＝ミシェル著、1929 年／ファスケル出版）も貸出。

② 1 件 1 点

坂田一男「浴室の二人の女」

展覧会名：キュビズムと高橋節郎展

貸出先：安曇野高橋節郎記念美術館

会期：令和元（2019）年 7 月 13 日～9 月 16 日

貸出期間：令和元（2019）年 7 月 5 日～9 月 25 日

③ 7 件 7 点

石橋和訓「裸婦習作」

鹿子木孟郎「外国風景」

武内鶴之助「ロンドン郊外」

武内鶴之助「パトニーブリッジ」

武内鶴之助「虹のある風景」

武内鶴之助「稲妻」

山下新太郎「ゲインズバラ《夫人像》模写」

展覧会名：おかえり＜美しき明治＞展

貸出先：府中市美術館

会期：令和元（2019）年 9 月 14 日～12 月 1 日

貸出期間：令和元（2019）年 9 月 6 日～12 月 11 日

④ 1 件 1 点

小堀四郎「モンシーニ老人」

展覧会名：小堀四郎洋画展

貸出先：松村外次郎記念庄川美術館

会期：令和元（2019）年 10 月 12 日～11 月 10 日

貸出期間：令和元（2019）年 10 月 7 日～11 月 29 日

⑤1件 1点

坂田一男「浴室の二人の女」(さ 002-001)

展覧会名：坂田一男展

貸出先：東京ステーションギャラリー、岡山県立美術館

会期：[東京] 令和元(2019)年12月7日～令和2(2020)年1月26日／[岡山]
令和2(2020)年2月18日～3月22日

貸出期間：令和元(2019)年11月20日～令和2(2020)年4月15日

(3) 資料貸出

資料貸出 件数 点数 = 合計 2件 5点

①1件 1点

藤田嗣治関連書籍『モンパルナスの芸術家たち (Les Montparnos)』(ミシェル・ジョルジュ＝ミシェル著、1929年／ファスケル出版)

展覧会名：絵を見ると、あなたは何かを見ているの？展

貸出先：栃木県立美術館

会期：令和元(2019)年6月29日～8月25日

貸出：令和元(2019)年6月20日～8月29日

★その他、版画4点も貸出。

②1件 4点

森田恒友関連画材より合計4点

- ・ボード入れ
- ・組み立て式椅子
- ・オイル入れ(長方形)
- ・オイル入れ(楕円形)

展覧会名：森田恒友展

貸出先：福島県立美術館、埼玉県立近代美術館

会期：[福島] 令和元(2019)年11月23日～令和2(2020)年1月29日／[埼玉]
令和2(2020)年2月1日～3月22日

貸出：令和元(2019)年7月25日～令和2(2020)年4月15日

3 区民ギャラリーの貸出(利用状況については後掲「補足資料3」参照)

区民ギャラリーの貸出に関する業務を行った。利用率は2月までは好調であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用のキャンセルが相次いだ為、90%を切る結果となった。

空き状況については従来のホームページでの情報公開、メルマガ情報配信、チラシの配布に加え、SNS上に空き状況を配信した。また、新規利用者の開拓を狙い、貸しギャラリー専用サイトに情報を掲出した。このことにより、新規の利用や問い合わせが増加した。

保守メンテナンス等については、

- ①毎年行っている展示壁のクリーニングを行った。

- ②利用料の振込みを開始し、利用者の利便性の向上に努めた。
- ③倉庫の整備を行い、紛失しやすい展示フックの収納方法を変更した。
- ④展示壁上部のベアリング交換を行った。
- ⑤利用案内を更新した。

なお、兼ねてからの懸案事項であった展示台の軽量化及び展示の行いやすさについての工夫は、区
の予算が確保されたため、令和２年度中に実施していく予定である。

【利用実績】

年度	利用実延面数	利用料収納実績	利用率	入館者数
元年度	506.25面	5,246,064円 (4,756,064 円)	88.2%	延べ28,793人
30年度	548面	5,200,750円 (5,458,000 円)	95.8%	延べ31,321人

*利用料収納実績の上段は収納日の年度の合計、()内は当該年度の決算数値である。

*元年度の利用実延面数の「506.25」は、台風 19 号により利用時間を 3 時間短縮した結果の数字である。

*元年度 2～3 月は、新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセルが生じた結果、利用率が下がった。
(キャンセルが生じなかった場合の利用率は、94.1%である。)

4 その他の受託事業

(1)めぐろオータムアート

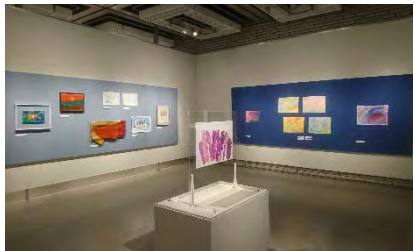
目黒区との共催事業。めぐろパーシモンホールとの連携事業として、音楽と美術、音楽と建築の融合をテーマにワー
ークショップ等を実施した。

(1)	講座名	目黒建築めぐり塾「親子東大探検隊」	 実施風景(東京大学駒場キャンパス)
	講師	折茂克哉(東京大学教養学部駒場博物館助教)	
	開催日	10月19日(土) 10:00～12:00	
	実施場所	東京大学駒場Ⅰキャンパス、東京大学駒場博物館	
	対象・定員	小学校5・6年生または中学生とその保護者 10組20人 ※中学生は単独参加可	
	参加者数	13人 [6組+1人]	
	内容	親子で東京大学キャンパスを回り、その歴史と建築の魅力に触れるコース。今年から中学生を対象に加え、中学生のみ単独での参加も可とした。結果、中学生の参加は親子での1組であった。親子双方にとって充足感の高いイベントとなるよう、子ども向けの解説を基本としながら、大人向けの詳細な解説も随時行うよう工夫がなされた。東京大学の歴史的な背景から誕生した建築を、折茂氏の解説を聞きながら見ることで、建築の魅力や意義を再認識し、親子で建築に親しむことのできる有意義なプログラムとなった。	

(2)	講座名	目黒建築めぐり塾 「『駒場』を『読む』」 -旧前田家本邸洋館・和館+日本民藝館	 実施風景(前田家本邸洋館)  実施風景(前田家本邸和館)
	講師	永井達也(建築家)、岸敏彦(建築家)、 杉山亨司(日本民藝館学芸部長)	
	開催日	10月24日(木) 10:30~16:00	
	実施場所	旧前田家本邸洋館・和館、日本民藝館	
	対象・定員	高校生以上 20人	
	参加者数	16人	
	内容	建築家の永井氏、岸氏による解説を聞きながら、旧前田家本邸洋館・和館(洋館は2018年10月末にリニューアルオープンした)と日本民藝館を見学するコース。 旧前田家本邸では、永井氏と岸氏の両班に分かれて、建築と調度についての解説を聞きながら、前田家の居宅であり、改修により新たに復元された調度などの加わった洋館と、賓客の応接に用いられた和館を回った。日本民藝館では、学芸部長である杉山氏による日本民藝館の沿革や収蔵品の特徴、永井氏と岸氏による建築的特徴についての解説を聞きながら、本館と西館(非公開日につき特別観覧)を回った。 専門家による懇切な解説が好評を博しており、詳細な資料も参加者から喜ばれた。	
(3)	講座名	音楽と美術のワークショップシリーズ第8回 コマ撮りアニメで創る、私たちの愉快ないたずら ★中止	
	講師	井上真洋(デザイナー、アニメーター、株式会社コビト) Yuqi(UQiYO) 秋岡 陽(音楽史、フェリス女学院大学 学長)	
	開催日	10月13日(日)、14日(月・祝) 各日 10:30~17:30 [全2日間] 延期日 2020年3月28日(土)、29日(日) ※当初の日程は、台風19号上陸により延期となり、延期日はコロナウィルス感染拡大防止のため中止となった。	
	実施場所	目黒区美術館	
	対象・定員	小学校5年生以上、20名	
	内容	パーシモンホールとの合同企画の第8回目となるプログラム。今回は、ドイツ民話を基にR. シュトラウスが作曲したオーケストラ曲『ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら』をテーマに、参加者自身の記憶に残る「いたずらエピソード」を集めて創るコマ撮りアニメーション。	

(2)めぐるの障がい者アート展 日々のよろこび

目黒区との共催事業。前年度に行った事前調査に基づき、目黒区美術館区民ギャラリーを会場として展覧会を実施した。会期中には本館で開催中であった「太田喜二郎と藤井厚二」展との関連企画を含む各種イベントを行った。

(1)	展覧会名	めぐるの障がい者アート展 日々のよろこび		
	会期	8月7日(水)～18日(日) (11日間)		
	実施場所	目黒区美術館 区民ギャラリー		
	観覧料	無料		
	入場者数	975人		
	展示概要	開館以来、地域に根差した美術館として展覧会や教育普及活動に力を注いできた歩みに基づき、目黒で暮らす障がいのある方たちの作った美術作品を紹介した。 目黒区内に6か所ある区立の障害者通所施設を中心に、区内在住・在学・在勤の方から募集した作品を展示するとともに、施設紹介コーナー、感想を壁に貼ってシェアできるスペース、窓ガラスに絵を描けるスペースなどを設け、障がいの有無にかかわらず交流を持てる空間を設けた。		
関連催事	①	トークイベント「日々のよろこび」 開催日 8月14日(水)10:30～12:00 参加者:40人 内容:担当学芸員が進行役を務め、当日来場した出品者及びその支援者やご家族にマイクを向け、作品に込めた思いなどを語って頂いた。自由参加ではあったが、最後まで熱心に聞く聴衆も多く、好評であった。		
	②	視覚障がいのある方とともにめぐる「太田喜二郎と藤井厚二」展鑑賞ツアー 開催日:8月18日(日)14:00～16:00 参加者:10人(定員10人) ナビゲーター:白鳥建二氏/中川美枝子氏 内容:全盲のナビゲーター二人を中心に参加者を2グループに分け、本館で開催中の「太田喜二郎と藤井厚二」展を鑑賞した。目の見える参加者が見えないナビゲーターに一方的に教えるのではなく、それぞれの感覚や見たものをシェアすることで、それまで気づかなかった事実気づくなど、新たな鑑賞経験が生み出される。会場は終始和やかなムードに包まれ、最後の振り返りにおいても活発に意見が出されて好評であった。		
				
① イベント風景				
				
② ツアー風景				

展示風景 1

展示風景2

① イベント風景

② ツアー風景

		③ ヨーロッパの木の玩具で遊ぼう 開催日:8月10日(土)、11日(日)13:30～16:00 参加者:10日 31人／11日 34人 内容:目黒区美術館がコレクションしてきた木製玩具で、スタッフとともに遊べるコーナーを展示室内に設けた。親子連れの参加者が多い一方で、一人で来場した出品者の参加もあり、障がいの有無にかかわらず、玩具に手で触れ、組み立てるなどの工程をじっくり楽しむ参加者が目立った。来場者間での交流も生まれ、好評であった。	 ③ イベント風景
--	--	---	---

第3 その他事業(定款第4条第1項第4号及び第4条第2項)

1 芸術文化活動団体等や学校教育への協力・支援

(1) 区展(区民作品展)への協力

絵画、写真、書、手工芸など区民の美術作品を公募展示する区展実行委員会にオブザーバー参加し、事前打合せから会場等の設定・撤去、展覧会の運営、広報等に協力した。

- ・ 会期:9月18日(水)～9月29日(日)(11日間)
- ・ 入場者数:3,458人
- ・ 出品点数:468点

(2) 区内美術4団体への協力

共催事業として区民ギャラリーを活用して各団体の展覧会を開催した。美術館として区報掲載や住区センター・地区サービス事務所へのチラシ配付等広報に協力した。

- ① 目黒区写真美術協会展 協会都合により実施無し
- ② 目黒区書作家協会展 (会期:5月15日(水)～19日(日)、入場者数:352人)
- ③ 目黒区美術家協会展 (会期:6月19日(水)～23日(日)、入場者数:350人)
- ④ 目黒区美芸作家協会展(会期:令和2年3月24日(火)～29日(日)、**★中止**)

(3) 区内等中学校への協力

区内等中学校の職場体験及び職場訪問に協力した。

- ・ 8月1日(木) 私立普連土学園中学校(港区)3年生、2人
- ・ 令和2年1月15日(水)～17日(金)目黒区立目黒中央中学校2年生、2人
- ・ 令和2年2月5日(水)トキワ松学園中学校2年生、4人

(4) 視察/研修等の受け入れ

- ・ 5月14日(火) 東京造形大学 博物館実習学外授業 35人
- ・ 5月29日(水) 東京造形大学 博物館実習学外授業 20人
- ・ 6月2日(日) 東京家政大学 博物館実習学外授業 37人
- ・ 6月7日(金) 東京藝術大学 画材の引き出し博物館見学 12人

- ・ 7月26(金)/27(土)/28(日) 目黒区立学校教員 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ 1人
- ・ 7月31日(水) 目黒区立小学校図工部会 展覧会見学等 11人
- ・ 10月24日(木)/30(水)/31(木) 東京家政大学造形表現学科「フィンランド陶芸」展鑑賞・解説 48人
- ・ 11月2日(土) オケクラフト作り手養成塾道外研修 2人
- ・ 11月6日(水) 目黒区中学校研究部会 美術部門研修 8人
- ・ 11月27日(水) 東京造形大学 博物館学芸員資格取得課程博物館実習Ⅱ 17人

2 危機管理体制

令和2年1月30日に震災を想定した避難訓練を実施した。訓練は目黒消防署指導のもと、目黒区美術館消防計画に基づき職員・監視員・受付スタッフが参加して行った。併せてAED講習も実施した。

3 収益事業等(ミュージアムショップ、ラウンジ運営)

(1)ミュージアムショップ(通年)での取り組み

- ・ 商品ラインアップの入れ替えを行い、リピーター利用者が飽きのこない工夫をした。
- ・ 各展覧会に関連した書籍等を販売し、手数料収入を得た。
- ・ 展覧会図録については、1年を通してホームページから簡単に申し込み可能な通信販売を実施しており、遠隔地のお客さまには大変好評であった。(電話、FAX申し込みも可)

【世紀末ウィーンのグラフィック】展

- ・ 入館者予想が大幅に上回ったこともあり(目標 8,000、結果 13,348)、関連商品であるポストカード、クリアファイル、一筆箋、しおり、書籍等売り上げは大変好評であった。
- ・ 図録が特に好評で、目標 1,000 冊に対して計 2,636 冊売り上げた。

【太田喜二郎と藤井厚二】展

- ・ 本展にあわせてポストカード及びクリアファイル(A5 サイズ)を作成し、販売した。
- ・ 聴竹居からの委託販売物としてポストカード及び一筆箋を取り扱った。

【線の迷宮〈ラビリンス〉Ⅲ 齋藤芽生とフローラの神殿】展

- ・ 昨年より好評販売中の当館ロゴマーク入りのトートバッグを本展に合わせて赤色で作成し、図録とセット(単品購入よりも 100 円安価)及び単品で販売したところ、好評を得た。

(2)ラウンジでの取り組み

- ・ 「世紀末ウィーンのグラフィック」展では、ウィーンにちなみウィーンの老舗コーヒー店「ユリウス・マインル社」のコーヒーを 300 円で販売した。
- ・ 「太田喜二郎と藤井厚二」展では、目黒区美術館夏の恒例ご当地サイダーメニューとして、姫路市安富町のゆずサイダーを提供し、167 本売り上げた。
- ・ 「線の迷宮〈ラビリンス〉Ⅲ 齋藤芽生とフローラの神殿」展では、本展イメージカラーである「赤」にちなみ、クリアな赤色の柘榴茶を柘榴ゼリーを添えて 250 円で販売した。

4 ボランティア活動

ボランティア会員92人(令和2年3月31日現在)が、5班(ラウンジ班、トイコレクション班、建築班、広報班、資料整理班)に分かれ、美術館運営に関するボランティア活動を行った。

ボランティア研修として、12月5日にバスツアーを開催し、DIC 川村記念美術館と国立歴史民俗博物館を見学した。総勢 41 人の参加であった。

毎年、年度末に開催しているボランティア総会については、3月14日(土)に予定していたが、コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。

- ・ ラウンジ班: 展覧会開催期間延べ201日(区展含む)にわたり、ラウンジ運営に協力した。
- ・ トイ・コレクション班: アウトリーチ2回及び夏のワークショップ恒例のファミリーワークショップ「トイでつくる光と影の街」の企画から実施まで精力的に活動した。
- ・ 建築班: 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー及びめぐろオータムアート事業に協力した。
- ・ 広報班: 展覧会のチラシ、ポスター発送作業(年間3回)に協力した。
- ・ 資料整理班: 展覧会のデータ入力補助や資料整理のほか、作品リストや展覧会カレンダー、各種案内の英文翻訳を行った。

令和元年度 展覧会事業実施状況

区 分		世紀末ウィーンの グラフィック	太田喜二郎と 藤井厚二	めぐろの 障がい者アート展	線の迷宮 (ラビリンス)Ⅲ	めぐろの 子どもたち展	越境者たち-BEYOND THE BORDERS	計
会 期	期 間	H31.4.13～6.9	元.7.13～9.8	元.8.7～8.18	元.10.12～12.1	R2.1.18～2.2	R2.2.15～3.22	
	日 数	50	50	11	44	14	32	201
入館者数(人)		目標	8,000	600	6,000	10,000	3,000	35,600
		実績	13,348	975	5,263	10,847	2,007	39,410
有料		8,515	3,170	0	2,070	0	816	14,571
一般(下記以外)		6,862	1,803	0	1,391	0	559	10,615
高校・大学・高齢者		1,653	1,367	0	679	0	257	3,956
無料		4,833	3,800	975	3,193	10,847	1,191	24,839
	招待券	1,831	1,671	0	1,441	0	380	5,323
	ぐるっとパス	2,452	1,603	0	1,387	0	645	6,087
	障がい者	245	176	※0	102	0	71	594
	幼児・小・中学生	76	217	0	33	0	18	344
	小学生ギャラーツアー	75	0	0	60	2,602	0	2,737
	その他(ピリエ会員等)	154	133	975	170	8,245	77	9,754
	入館者割合(%)							
	有料	63.8	45.5	0.0	39.3	0.0	40.7	37.0
	無料	36.2	54.5	100.0	60.7	100.0	59.3	63.0
1日当たり入館者数(人)		267	139	89	120	775	63	196
入館料収入(円)		6,415,460	2,833,800	0	1,542,890	0	542,840	11,334,990
備 考								

- * 「その他」は内覧会参加者、ピリエ等の入館者数である。(「線の迷宮Ⅲ」展には目黒シテイラン走者特典含む。「めぐろの子どもたち」展については一般入館者数である。)
- * 「めぐろの障害者アート展」の障がい者の入館者数については、無料展のためカウントしていない。
- * 「ぐるっとパス」については、受付の日計表とあわせて「無料」の区分としているが、実際の取り扱いについては、71ページのとおりである。

令和元年度 展覧会入館者数等の推移

区分			令和元年度	平成30年度	前年度比較
展覧会事業	事業数		6	5	1
	開館日数		201	190	11
	入館者数 (人)	有料	14,571	14,040	531
		無料	24,839	24,124	715
		合計	39,410	38,164	1,246
	観覧料(円)		11,334,990	11,336,820	△ 1,830
教育普及事業（ワークショップ事業含む）	春夏ワークショップ	開催数(回)	4	6	△ 2 ※①
		参加者数(人)	94	126	△ 32 ※②
	ギャラリーツアー	開催数(回)	1	1	0
		参加者数(人)	76	73	3
	トイコレクション アウトリーチ	開催数(回)	2	2	0
		参加者数(人)	120	109	11
	トイの日	開催数(回)	0	2	△ 2 ※③
		参加者数(人)	0	118	△ 118 ※④
	庁舎建築ガイド ツアー	開催数(回)	4	4	0
		参加者数(人)	314	344	△ 30
	デザインキャンプ	開催数(回)	0	1	△ 1 ※⑤
		参加者数(人)	0	84	△ 84 ※⑥
	遊びのひろば	開催数(回)	0	6	6
		参加者数(人)	0	111	△ 111
	館長美術講座	開催数(回)	0	3	△ 3 ※⑦
		参加者数(人)	0	195	△ 195 ※⑧
	大人のための 美術カフェ	開催数(回)	3	4	△ 1 ※⑨
		参加者数(人)	207	179	28 ※⑩
	合計	開催数(回)	14	27	△ 13
		参加者数(人)	811	1,339	△ 528

※①②「春のワークショップ」は例年通り2回開催予定だったが、コロナにより中止。

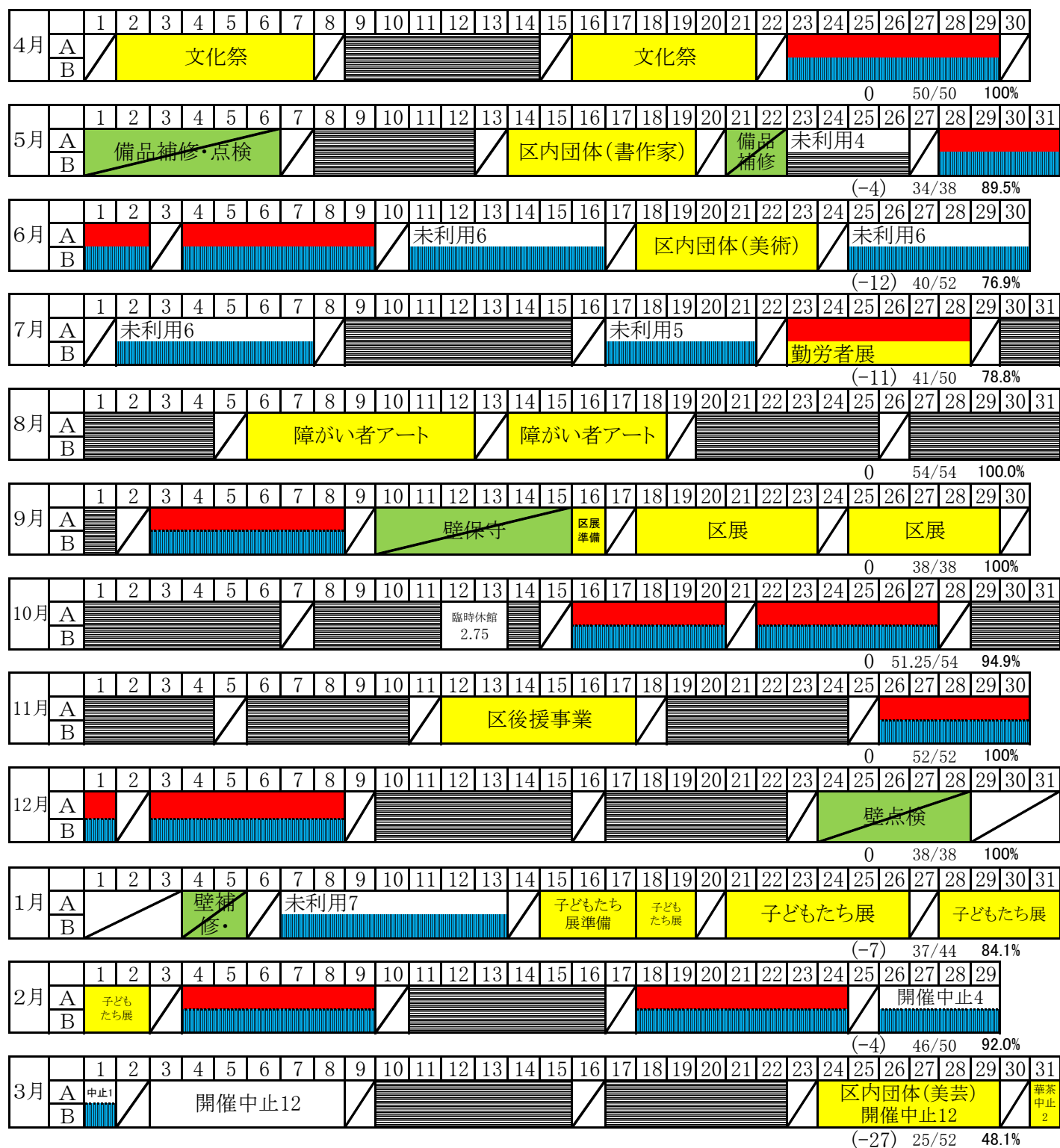
※③④「トイの日」は例年通り2回開催予定だったが、コロナにより中止。

※⑤⑥「デザインキャンプ」は例年通り1回開催予定だったが、コロナにより中止。

※⑦⑧「館長美術講座」は例年通り3回開催予定だったが、コロナにより中止。

※⑨⑩「大人のための美術カフェ」は例年通り4回開催予定だったが、最終回のみコロナにより中止。

令和元年度 目黒区美術館 区民ギャラリー利用状況



凡例



A面のみ利用



B面のみ利用



全面利用



共催、後援事業



保守、補修等



休館日

令和元年度 広報一覧

広報内容	広報手段		件数等		備考
各 展 覧 会 ・ ワ ー ク シ ョ ッ プ 等	当館ホームページ		493,015件(R元)		全体アクセス数
			582,450件(H30)		
	めぐろ区報				事業毎
	区ホームページ				事業毎
	プレスリリース送付		約300件		各展覧会毎
	ポスター・チラシ送付		約700件		各展覧会毎
	JR目黒駅広告看板掲出(有料広告)				通年
	JR目黒駅周辺案内図「ナビタ」掲出(有料広告)				通年
	都営バス天吊り広告(有料広告)		1路線		通年
	新聞掲載(有料広告)		11件	3件	世紀末ウィーン展
				3件	太田・藤井展
				3件	ラビリンスⅢ展
				2件	コレクション展
	ぐるっとパス事業参加(有料:分担金)				通年
	フェイスブック・ Instagram広告 (有料広告)	配 信 期 間	4/12～5/10	東京・神奈川・埼玉・千葉、20～40代男女ユーザー	世紀末ウィーン展
			7/12～31,8/23～9/6	東京・神奈川・埼玉・千葉、20～40代男女ユーザー	太田・藤井展
			10/11～11/3,11/15～30	東京・神奈川・埼玉・千葉、20～50代男女ユーザー	ラビリンスⅢ展
2/15～3/15			東京・神奈川・埼玉・千葉、20～50代男女ユーザー	コレクション展	
メールマガジン		16件	登録者数:381人	事業毎	
ツイッター		89件	フォロワー数:12,958人	事業毎	
フェイスブック		35件	フォロワー数:1,181人	事業毎	
Instagram		45件	フォロワー数:146人	事業毎	
区 民 ギ ャ ラ リ ー 利 用 案 内	当館ホームページ		493,015件(R元)		全体アクセス数
			582,450件(H30)		
	メールマガジン		5件		空き室発生時等
	都内と近辺大学(芸術学部)へギャラリー案内送付				
	めぐろ観光まちづくり協会へ空き情報チラシ送付				
区 庁 舎 報 告 等 の	西口ロビーパネル展示		10日間		7/1(月)～10(水)
	1階食堂近くの掲示板利用		1か所		通年
	文化・交流課窓口等				
	めぐろ観光まちづくり協会窓口				

上記実績は令和2年3月31日現在。

処務の概要

(1) 重要な契約の概要

契約名	契約年月日	相手方	契約趣旨
目黒区文化ホールに関する基本協定書	平成31年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区文化ホール条例第4条に規定する事業に関する業務 (2) 施設の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 2 協定の期間 平成31年4月1日から平成36年(令和6年)3月31日まで
目黒区美術館の管理に関する基本協定書	平成31年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区美術館条例第3条に規定する事業に関する業務 (2) 本施設の観覧、特別観覧及び区民ギャラリーの利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 2 協定の期間 平成31年4月1日から平成36年(令和6年)3月31日まで
目黒区文化ホールの管理運営に関する平成31年度協定書	平成31年4月1日	目黒区長	平成31年度における目黒区文化ホール管理業務の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費を定める協定書
目黒区美術館の管理運営に関する平成31年度協定書	平成31年4月1日	目黒区長	平成31年度における目黒区美術館管理業務の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費を定める協定書

(2) 財団運営会議開催状況

回数	開催年月日	議題
第1回	令和元年5月8日	平成30年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書の提出及び監査
		理事会提出議案等の確認
		評議員会提出議案等の確認
		その他
第2回	令和元年5月28日	監査報告書の提出
		理事会提出議案等の確認
		評議員会提出議案等の確認
		その他
第3回	令和元年10月1日	理事会提出議案等の確認
		評議員会提出議案等の確認
		令和2年度の区に対する予算要求について
		その他
第4回	令和2年2月4日	理事会・評議員会提出議案等の確認
		その他

(3) 理事会・評議員会開催状況

① 理事会

回数	開催等年月日	議案番号等	件 名
第 1 回	令和元年6月10日	議案第 1 号	・平成 3 0 年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書（案）
		議案第 2 号	・令和元年度目黒区文化ホール事業計画の変更（案）
		議案第 3 号	・令和元年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正 1 号予算書（案）
		議案第 4 号	・令和元年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団定時評議員会の招集について
		協議事項	・令和 2 年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画（素案）について
		報告事項	・令和元年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について
			・理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況の報告について
書面表決	令和元年6月25日	議案第 5 号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事長の選定について
		議案第 6 号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団副理事長の選定について
		議案第 7 号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団常務理事の選定について
第 2 回	令和元年10月8日	議案第 8 号	・令和元年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第 2 回評議員会の招集について
		協議事項	・令和 2 年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画（原案）
		報告事項	・令和元年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告（9 月 1 0 日現在） ・平成 3 0 年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者運営評価結果報告について
第 3 回	令和2年2月18日	議案第 9 号	・令和 2 年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書（案）
		議案第 1 0 号	・令和 2 年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算書（案）
		議案第 1 1 号	・令和 2 年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団資金調達及び設備投資の見込み
		議案第 1 2 号	・令和元年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第 3 回評議員会の招集について
		議案第 1 3 号	・専決処分した事項の報告及び承認について（給与規程改正）
		議案第 1 4 号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団就業規則第 1 1 条第 1 項ただし書の規定により採用した職員の就業及び給与の特例を定める規則の一部を改正する規則
		議案第 1 5 号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団契約職員就業規則の一部を改正する規則
		議案第 1 6 号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団非常勤職員規程の一部を改正する規程
		議案第 1 7 号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団臨時職員規程の一部を改正する規程
		議案第 1 8 号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団退職手当支給規程の一部を改正する規程
		報告事項	・令和元年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告（1 月 1 5 日現在）
			・理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況報告

② 評議員会

回数	開催等年月日	議案番号等	件名
第1回	令和元年6月25日 (定時評議員会)	議案第1号	・平成30年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書(案)
		議案第2号	・令和元年度目黒区文化ホール事業計画の変更(案)
		議案第3号	・令和元年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算書(案)
		議案第4号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事の選任について
		議案第5号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団監事の選任について
		協議事項	・令和2年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(素案)について
		報告事項	・令和元年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について
			・次期評議員の選任決定について
第2回	令和元年10月25日	協議事項	・令和2年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画書(原案)
		報告事項	・令和元年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告(9月10日現在)
			・平成30年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者運営評価結果報告について
第3回	令和2年2月28日	議案第6号	・令和2年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書(案)
		議案第7号	・令和2年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算書(案)
		議案第8号	・令和2年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団資金調達及び設備投資の見込み
		報告事項	・令和元年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告(1月15日現在)

(4) 評議員・理事・監事名簿

① 評 議 員

(順不同)

役 職	氏 名	備 考
評議員	新 井 篤 美	日本経済新聞社社友
〃	伊 藤 昌 明	目黒信用金庫理事相談役
〃	柏 谷 秀 男	弁護士
〃	塩 田 純 一	多摩美術大学客員教授
〃	井 上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
〃	木 田 左和子	昭和女子大学非常勤講師
〃	箱 守 栄 一	美術品リスクコンサルタント
〃	橋 本 安 男	目黒区民交響楽団団長
〃	野 島 稔	東京音楽大学学長
〃	宮 廻 正 明	東京藝術大学名誉教授
〃	植 田 健 二	目黒吹奏楽団団長

(令和2年3月31日現在)

② 理 事

(順不同)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	清 水 美知雄	ワッティー株式会社代表取締役
副 理 事 長	山 下 直 純	山下寝具株式会社会長
常 務 理 事	伊 東 桂 美	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長
理 事	遠 藤 幸 子	弁護士
〃	田 中 晴 久	平和祈念展示資料館学芸員
〃	秋 山 光 文	目黒区美術館長
〃	中 屋 早紀子	声楽家・桐朋学園芸術短期大学音楽科講師
〃	秋 岡 陽	フェリス女学院大学学長
〃	島 崎 忠 宏	めぐろパーシモンホール館長
〃	渡 部 弘	行政経験者

(令和2年3月31日現在)

③ 監 事

(順不同)

役 職	氏 名	備 考
監 事	増 秀 夫	税理士
〃	横 田 俊 文	行政経験者

(令和2年3月31日現在)